

町田市立国際版画美術館 紀要
第29号

研究ノート

版画文集『炭焼きものがたり』制作にみる山びこ学校生徒・地域社会の中国木刻受容 —内山嘉吉旧蔵作品・資料による再検討

町村悠香

当館では2024年度に、山形県南村山郡山元村山元中学校(通称「山びこ学校」)において無着成恭が担任を務めていた学級で制作された版画文集『炭焼きものがたり』(1951年、図1)ならびに、生徒による礼状等の内山嘉吉旧蔵作品・資料を受け入れた。

『炭焼きものがたり』は、炭焼きの労働の大変さや労働が報われない社会矛盾を版画と作文で描き、戦後学校教育における版画的普及に大きな影響を与えた作品として知られている。制作にあたって中国木刻が参照されたことは従来指摘されてきたものの、その具体的な影響や受容のあり方については、十分な検証が行われてこなかった。

今回受け入れた資料のうち、生徒の礼状の一つである佐藤藤三郎の手紙は、中国木刻が山びこ学校の生徒、さらに山元村という地域社会においていかに受け止められていたのかを具体的に記した貴重な一次資料であることが分かった。本稿では文末に同書簡の全文書き起こしを掲載するとともに、『炭焼きものがたり』制作過程における中国木刻受容の実態を検討する。これにより、学校教育に留まらず戦後文化運動にも大きな影響を与えた山びこ学校の版画制作実践には、中国民衆への共感という視点が具体的に存在していたことを明らかにする。

1 寄贈作品・資料の制作経緯と当時の反響

制作経緯

版画文集『炭焼きものがたり』の成立には、山びこ学校における無着成恭の生活綴方実践が前提として存在する。無着は1948年に山元中学校へ赴任し、生活綴方を教育実践の中心に据えた指導を行った。その成果は1951年3月刊行の『山びこ学校—山形県山元村中学校生徒の生活記録』(青銅社)に結実し、教育界にとどまらない反響を呼び、映画化もされた。同書は戦前戦中に途絶えていた生活綴方を戦後に復興させる端緒となった。

『炭焼きものがたり』は書籍出版と同月の1951年3月、無着不在時に画家・美術教育者の箕田源二郎と画家の小口一郎が指導して

制作された。箕田らが内山嘉吉所蔵の中国木刻を山元村へ持参し、生徒に紹介したことが、版画文集制作の直接的なきっかけとなった。内山嘉吉は東京・神保町の内山書店の店主で、同店は嘉吉の兄・内山完造が上海で創設した書店が前身である。完造は、中国木刻を提唱した小説家で思想家の魯迅の文化活動を支援したことで知られ、その縁で嘉吉は中国木刻を多数所蔵していた。1940年代末から1950年代半ばにかけて日本全国で開催された中国木刻巡回展に協力しており、箕田に木刻を貸したのもその一環であったと考えられるⁱ。

寄贈作品・資料の概要

内山が中国木刻を貸したことへの謝礼として届けられたのが、以下①～③の作品・資料群である。これらに加え生徒が生産した餅米が添えられていたという。このエピソードは『魯迅と木刻』(研文出版、1981年)でも紹介されているⁱⁱ。長年にわたり内山家に保管されてきた本資料群は、嘉吉の子息で内山書店を継いだ内山籬氏を通じて、当館に寄贈された。

①『炭焼きものがたり』表紙+作品13点

各作品には、生徒による短文が付されており、炭焼きに関わる労働や生活の過程が連続的に描かれている。本作品は綴方部分が簡略化されている点に特徴がある。(表1)

② 箕田源二郎「版画物語 炭焼物語指導記録」(原稿用紙5枚)

内山が付した表紙には「『炭焼物語』はどのようにして生まれたか—山元中学生徒による連環版画『炭焼物語』指導者箕田源二郎氏の指導記録—1951年中国木刻展を山元村に開催(3月4日(日))」の題がつけられている。これまでの箕田による指導記録は「生活版画の呼びかけ」『教師の友』(新日本教育研究所編集、日本学力向上研究会発行、1952年2月、pp.28-29)が確認されていたが、本資料には新出事項も書かれていた。『炭焼きものがたり』制作過程を知るうえで重要な一次資料であるが、本稿では一部の引用に留める。

(表1)

[表紙]	版画すみやきものがたり 制作 山形県南村山郡山元村山元中学校 江口江一外〔ママ〕十三名共同制作 指導 箕田源二郎 1951
(1)	木きり 江口江一 [書き込み文章、以下同] アアッ ノコギリがおれちゃう
(2)	木わり 小笠原誠 この木はなかなかわれない。えい!!
(3)	炭木引き 川合末男 雪の中を汗水たらしながら長い木を沢山引ばる。
(4)	はちうり 川合末男 ベッタン、ベッタンはちうちだ!!
(5)	炭小屋かけ 川合末男 兄さんは、お父さんにカヤをわたしている。
(6)	炭づくり 佐藤藤三郎 いやいやめんどうなもんだ。かますなら二日でつめ方がおわるんだが、このすごときは五日もかかっちゃう。すご代は高いし、めんどうだ。それでもねだんは安いときているし、明日うける配給米代をどうしようかなあ。
(7)	炭出し 川合義憲 カマの中は真赤に炭がおきているのでアツイアツイ
(8)	炭引き 川合和雄 今日は学校休みだ。三べん運んだがもう一ペンひっぱったら暗くなるかな。
(9)	炭引き 川合実 ああ暗くなった。よいしょよいしょ。炭を売らないとぜい金出せないのだから。よいしょよいしょ。
(10)	炭せよい 木川進 はらへったなあ。又くきな煮でばんげんもうまいべなあ。たまには魚もくいたいがなあ。
(11)	炭うり 川合義憲 炭焼きが農業協同組合で炭を買はないので町にうりに行く
(12)	巡査につかまる 川合貞義 アッ、シマッタ 夜中に来たが明るくなってしまった。
(13)	いろりばた 川合哲男 ヤミ炭を売りに行って巡査におさえつけられ家に来てがっかりしている

③ 内山嘉吉への手紙

◎佐藤藤三郎からの手紙(原稿用紙5枚)

※本稿末尾に全文書き起こしを掲載した。

・清野一夫、伊藤秀雄、横戸喜平治、川合義憲、横戸榮子、門間傳次郎からののがき

『炭焼きものがたり』の反響

1951年12月には『美しい暮しの手帖』14号(暮しの手帖社)に「特集 炭焼き」として本作品と作文が掲載される。さらに、翌年の『アサヒグラフ』1434号(朝日新聞社、1952年2月6日)で石田和男が指導した岐阜県中津川町東小学校児童の版画が掲載されると、「生活版画」が注目を浴び、綴方を指導していた全国の教員たちが版画も指導するようになる。こうした動きをみた大田耕士が1951年に日本教育版画協会を設立し学校教育のなかで版画による人づくりを目指す教育版画運動を牽引する。この運動等が後押しとなり、1958年に改訂された学習指導要領には「版画をつくる」が小学校全学年の指導内容に加わった。このように『炭焼きものがたり』は、戦後教育における版画普及の端緒をなす作品であった。

『炭焼きものがたり』は『美しい暮しの手帖』に掲載された後、51年の初版を改訂した無着成恭編『山びこ学校(新版・定本)』(百合出版、1956年)にも版画と作文の双方が掲載された。なお今回受け入れたものは①の(表1)に記した通り綴方はかなり省略され

ており、順番とタイトルも一部相違がある。

2 山元村での中国木刻受容

展覧会開催と地域社会での反響

②箕田源二郎「版画物語 炭焼物語指導記録」によれば、以下のように内山から借り受けた中国木刻は生徒のみならず、村人を招いた展覧会を通じて地域社会にも公開された。

「日本の図画教育は大変たちおけていること。図画はみんなのものであると。山元村の図画教育をさかんにするために東京から図画の先生がきたこと。そして中国の木刻画の展示会を学校でひらく事」をしらせるびらが無着氏のなまえですられ一戸一戸に子供たちの手によっておくりとどけられた。

雪が三月というのにしんしんとふる日であった。教室のまわりに机をならべて内山氏の厚意による中国木刻画七十六点が陳列された。

僅かに人口1600という小さい村である。文化などというものはおよそ縁の遠い貧しい村である。絵といえば床の間にぶらさげるあやしげな軸か額にいらた=争画の肖像画位しかおもしろいおこさない村の人である。

しかしこの人々はそっちょくに作者の感動を感動し、民族のちがいをのりこえて中国人民の怒りを悲しみをともに怒り悲しんでくれたのである。数百人もの人々がわらぐつをはき、けっとうをかぶり一里もある遠方からわざわざきてくれたのである。

箕田は「生活版画の呼びかけ」ⁱⁱⁱでも、佐藤藤三郎の言葉を引用し、中国木刻のリアリズムが村人に深い印象を与えたことを紹介している。

その時に、中国の版画を七十点ほどもって行って、みてもらったのですが、その感想を佐藤藤三郎君が、次の様にのべています。「こういう現実的なものを、見たこともない村の人たちは、あまりにも自分たちのことが描かれている様な気がして、ほっと嘆息をついておったくらいです。ほんとうに見たことがないのです……」。絵といえば、美しいものだけと思っておったのです。

今回当館に寄贈された佐藤藤三郎の礼状は、箕田のこの引用の原本にあたることが分かった。文末の書き起こしで下線を引いたのは木刻が言及されている部分であり、2か所目の下線部が箕田の引用を含む箇所である。引用の前で佐藤は、山元村から出征し「中国に兵隊に行って来た大人は、私たち以上に感心しておりました。実感があるのでしょうか。」と書き、共感に至る背景を説明している。

原本である佐藤の手紙を読んで分かるのは、村でも特に実際に中国に行った大人たちが、かつて兵士として見ていた中国の人々や情景が描かれた中国木刻に共感を示していたこと、そして中国民衆を他者として見るのではなく、村で苦しい生活を送る現在の自らの姿を重ね合わせ、「あまりにも自分たちのことが描かれている様な気がして」いたということである。学校まで足を運んで中国木刻を見た経験は、彼らに過去の侵略と被侵略を超え、自らの境遇を重ね合わせる視座をもたらした。

『炭焼きものがたり』が制作されるに至る背景には、生徒が中国木刻に描かれた姿だけを見て自分たちの生活の苦しさと同じく感じただけでなく、従軍経験を有した大人の深い実感を目にした生徒たちが、「中国木刻のリアリズム」の確からしさを確信したという、地域社会全体で共有された鑑賞体験があったことがうかがえる。

「連環画」から学んだ主題の物語化

生徒や村の人々はどうのような作品をみたのか。箕田、佐藤の記述には中国木刻の具体的な作品名、作家名は記されていない。ただ生徒たちが作った作品は、個々でそれぞれに主題を選んで版画

をつくるのではなく、『炭焼きものがたり』という物語性をもつ共同制作に結実したことを考えると、内山が貸した作品群のなかに連環画が含まれていた可能性が高い。箕田は自身の記述に「版画物語 炭焼物語指導記録」と題を付けたのに対し、内山は後から付けた表紙で副題に「山元中学生徒による連環版画「炭焼物語」指導者箕田源二郎氏の指導記録」と書いており、「版画物語」と「連環版画」という表現の差異はこの推測を補強する。

連環版画または連環画とは、連続的図像を通じて民衆の生活や闘争を物語的に描き出す表現形式である。魯迅はフラン・マズレルが「文字のない小説」と称した『一個人の受難』に着想を得て連環画制作を奨励した。これには言葉を用いずに物語を伝え、非識字者にもメッセージを伝えられるという理由もあった。内山に届けられた『炭焼きものがたり』には文章が添えられているが、内山はこれも連環画だと認識していた。

彼らが見ていた連環画とは何か。『中国木版画展』図録(神奈川県立近代美術館、1975年)には内山嘉吉から神奈川県立近代美術館に寄贈された作品が掲載されている。内山嘉吉「中国版画と私」によると、旧蔵品のなかに連環画は以下4シリーズが含まれている^{iv}。

陳鉄耕 連環画『法網の図』13点 1933年

陳普之 連環画集『転変』7点 1933年

鄭野夫 連環画『水災』17点 1932年

李志耕 連環画『赤ひげ龍に乗る』25点 1947年

『山びこ学校』には佐藤藤三郎の「すみやき日記」(秋から冬にかけての炭焼きの過程)や、川合義憲「やみ」(闇取り引きせざるを得なかった状況と警察の取り締まり)、「米登録」(農協組合の活動について)などの綴方が掲載されている。『炭焼きものがたり』は、中国木刻を見た時点で既に文集に寄せていた内容を再構成し、連続的図像による物語として視覚化したと考えられる。こうした綴方のテーマと共通点があるのは鄭野夫『水災』(表2)である。『水災』には洪水で住居を失い上海に移った人々が工場労働者となり、そこで直面した困難と抵抗が描かれている^v。労働場面や警察がでてくる点など、彼らの綴方と相通じており、この連環画を鑑賞した可能性を推測できる。

(表2)

鄭野夫 連環画『水災』1932年 内山嘉吉旧蔵・神奈川県立近代美術館所蔵版のタイトル			
1 洪水	5 (欠落)	9 疲れ	13 捕られる
2 避難	6 都会生活への第一歩	10 圧迫	14 牢獄へ
3 上海へ	7 組合に入る	11 反抗	15 請願
4 野宿	8 仕事	12 闘い	16 がんばる
			17 釈放

紙幅の関係上、作品の各作品の図版掲載ができないため『水災』の図像との直接的比較は今後の課題とするが、山びこ学校生徒や村の人々が中国木刻に描かれた民衆の姿に共振したように、文字に頼らず物語を伝える視覚表現の経験が、「炭焼き」という労働の現実を共有可能な物語として提示する方法を、生徒たちに学ばせた可能性は大きい。

3 山びこ学校の位置づけの再評価

『山びこ学校』が刺激した国文学論争、国民的歴史学運動

本稿で紹介した資料において明らかとなった、中国木刻が『炭焼きものがたり』に与えた具体的影響は、従来、戦後文化運動の文脈で論じられてきた中国民衆と山びこ学校との関係性を、再考する契機を与えるものである。

『山びこ学校』の影響は教育実践にとどまらず、1950年代前半に中国文学者の竹内好らによって展開された国民文学論争の思想的端緒をなすものであった。同書は、農村の子どもたちが自らの生活経験を言語化することで社会構造の矛盾に自覚的になる営みを通じて、文学の担い手を知識人から民衆へと拡張する可能性を提示した^{vi}。

竹内好は国民文学論争において、文学を民衆に開くと同時に、近代日本そのものを批判的に問い直そうとした。竹内にとって「国民」とは所与の共同体ではなく、歴史的矛盾のなかで形成される運動的主体であった。魯迅研究を通じて竹内が提示した自己否定を契機とする主体形成の思想の射程は一国の枠組みにとどまらず、アジアも視野に収めていた。竹内にとって「国民文学」とは、西洋を志向する近代日本の自己完結性を解体し、アジアの民衆との連帯のなかで検討されるべきものであった。

こうした問題意識は、同時期に展開された国民的歴史学運動にも通底している。中心であった石母田正は『歴史と民族の発見 歴史学の課題と方法』（東京大学出版会、1952年）で、日本において民衆の歴史を認識することで、「民族(国民)」を見出すことを説いた。石母田もまた魯迅に学び、アジア各地で独立運動の機運が高まる一方、サンフランシスコ講和条約によって日本のアメリカ従属が固定化しようとしていた状況のなか、アジア民衆との連帯のなかで民衆の歴史を編むことを目指した。

歴史学者の遠山茂樹は石母田の活動を解説する際、生活綴方運動について「生活体験を基礎とする社会認識の重要性を指摘した点で、『国民的歴史学』の主張と相通するものであった」と述べている^{vii}。山びこ学校の教育実践は、民衆主体の文学や歴史の編み直しに大きな刺激を与えた。

戦後文化運動研究にもたらす意義

池上善彦が指摘するように『炭焼きものがたり』の小笠原誠「木わり」は石母田正『続 歴史と民族の発見(人間・抵抗・学風)』（東京大学出版、1953年、図2）のカバーと見開きに使われ、近代日本を問う象徴的なイメージとして用いられていた^{viii}。石母田は同書の「学風の改革の問題」で山びこ学校生徒の版画について高く評価している。

われわれが、大衆のなかに喰いこんでいる古い思想や意識とのたたかい、その人たち自身をそのたたかいのなかでたすけるということは、いいかえれば、大衆の想像力を解放し、高めるということであります。この観点がなかったならば私どもは大きな誤りをおかします。大衆の文化的想像力がいかに新鮮で、澁刺としたものであるかを、私どもは『山びこ学校』で痛感させられました。その学校の生徒たちが制作した版画をさいきん見て、私は、二度驚かされました。このような想像力が、『山びこ学校』の生徒たちだけのものだとだれもいうことはできません、そこで出来たことは、ほかでもできるにちがいません。すべての日本の大衆のなかには、そのようなすばらしい想像力が眠っていること、それは、古い思想や意識、古い政治や経済生活、それからそれらのものを利用して、日本人の進歩と飛躍をおさえている占領制度の強圧のために、眠っているにすぎないのであります。^{ix}

山びこ学校の生活綴方実践は、アメリカ化する教育カリキュラムへの抵抗として無着成恭を中心に内発的に行われたものとされ、竹内や石母田ら知識人はそうした民衆的な想像力を、汎アジア的な民衆連帯へ繋げようと議論を展開していった。ここでの石母田の記述からは、これらの版画が中国木刻の影響を受けて制作されたものであるという認識は読み取れない。その要因として、『炭焼きものがたり』が広く知られる契機となった『美しい暮らしの手帖』において、中国版画への言及がなされていなかった点が挙げられる。

しかし、今回確認された『炭焼きものがたり』に関連する資料、とりわけ佐藤藤三郎による礼状は、これまでの認識に新たな視点をもたらすものである。佐藤の書簡には、中国木刻に描かれた中国民衆への共感が版画制作につながったことが明確に記されている。従来、山びこ学校と中国民衆との関係は、知識人の議論の展開のなかで間接的な文脈から論じられるにとどまってきたが、本資料は、中国木刻の受容に関しては直接的な影響関係があったことを示す。

まとめ

『山びこ学校』は、これまで学校教育への影響にとどまらず、文学や歴史の主体を民衆へと開いた実践として高く評価されてきた。国民文学論争や国民的歴史学運動においては、こうした民衆主体の実践を足場に、近代日本をアジア的視野のなかで再考しようとする試みがなされた。今回確認された佐藤藤三郎の書簡は、中国への従軍経験をもつ村の大人たちにとって、観念的でなく具体的な経験から中国民衆への共感があったことを示す一次資料である。この点において本資料は、山びこ学校の綴方だけでなく版画制作にまで視野を広げることで、従来の戦後文化運動の議論を再検討できる重要な手がかりを提供している。

このような共感が可能となった背景には、視覚表現がもつ、言語や国境を超えて伝播する力があつた。学級内を越え地域社会を巻き込んで中国木刻を鑑賞するという経験が共有されたことによって、「中国木刻のリアリズム」への確信が深まり、生徒たちは自らの生活と中国民衆の姿とを重ね合わせる視座を獲得した。その学びが『炭焼きものがたり』制作の原動力の一つとなつたのである。この点は言語化を中心とする生活綴方とは異なる位相において、版画がもつ可能性を示している。

佐藤藤三郎から内山嘉吉への書簡 書き起こし

1 頁目 ※内山嘉吉がつけた表紙

山形県南村山郡山元村山元中学校 佐藤藤三郎君の禮状 《反響1》

中国木刻展 =作品七十六点に添えて送られたもの。

別に刷り上げた彼らの才女の版画「炭焼物語り」十三枚が、お礼のもち米と共にとどけられた。

一九五一年三月十二日

2 頁目～6 頁目 ※佐藤藤三郎の手紙

私たちは山形縣の山の中の生徒です。そして今まではいつも「なあんだ山元か」というふうにみさげられておりました。だから自分からひくつになり、競技会に出ても、何に出ても負けるのをあたりまえと思つて、負けまえ〔ママ〕と努力することさえしませんでした。

それがいけなかつたのです。自分から、自分が一番つまらない、よわいものとみなしてしまい、何もやろうとしなかつたことがわかつたのです。

しかし、このわかつたことをわかつた〔ママ〕と反省出来る

ようになるためには、なんらかのきっかけ、この場合は指導者が心要なのです。だが私たちの村にはかうゆう〔ママ〕指導者がおりませんでした。何故いながつたのか、ということについては大きな問題なのですが。その第一は、村の少し金持ちの人が町に出て、いろいろと上級学校にはいっても村にもどらなかつたのです。村を忘れて、自分だけがえらいものになろうとばかりして、村の苦しさを考えようとしなかつたことです。そして上級学校というものはそれがほんとうだとされてきたように思うのです。

ところがどうでしょう。このたびはあんなにもすばらしい中国の版画を見せてもらうことが出来たのです。それも印刷したものでなくて原版から直接うつしたものをを見せてもらうことが出来たのです。山形市の美術ホールに來た印刷したものよりもいいものを見せてもらうことが出来たのです。わざわざ東京から箕田先生から貸り〔ママ〕て来てもらい、山元村で大人たちにも見ていただくことが出来たのです。箕田先生の話によればわざと山の中の山元にだからいいものを貸して下さつたということをお聞きしました。ほんとうに有がとう。

中国に兵隊に行つて來た大人は、私たち以上に感心しておりました。実感があるのでしょうか。それから私たちのうれしかつたことは一戸一戸に手紙を出したせいか、いか〔ママ〕いにも沢山の人が見に来てくれたことです。かうゆう現実的なものを見たことない村の人たちは、あまりにも自分たちのことがえがかれているよつな気がして、ほつとためいきをついておつたくらいです。ほんつとに見たことがないのです。絵といえば、美しいものだけだと思つておつたのです。どろまみれになつている自分たちが、金持ちのあそんでいる絵を見てよろこんでいたのです。絵というものはそうゆう〔ママ〕ものだけだと思つておつたのです。

あの版画を作つた中国の人々は沢山ころされたということ、ボール紙にかかれてあるものを読んでわかりました。何故ころされたのでしょうか。何故版画を作つたことがわかつたのでしょうか。今の私にはよくわかりません。私たち人民のことをえがいたものが何故いけなかつたかわかりません。

日本でだつて今人民のほんつものものをつくろつ、少しでも人民を〔ママ〕幸福になるものを作ろつと考えている人はひどい苦しつ生活をしているということをしきました。そしてそういう考えの人が食うことも出来なくなり、なにもすることが出来なくなるんだということも聞ききました。

ではびんぼう人はびんぼうをなくすためにたたかうにはどうすればよいのでしょうか。ということが学級で話合いになりました。そして私たちのよつなまだ何も仕事の出来ない人は、私たちのことをよく考えてくれる人の生活をまずまもることだといつ話し合いになりました。それで版画を見せてもらった御礼として、やひ

[ママ]何かしたいという学級一同の意見で、私たちが働いて作った餅米を、くってもらえれば、ということになりました。ほんのわずかですが学級全体の心ですからどうかめしあがって下さい。もっと沢山持って行ってもらいたいのですが、箕田先生もなにしろ荷物が多いものですから、少しきり持つていうで[ママ]いただけないのが残念です。

さっそく私たちの学級でも箕田先生から教わって[ママ]作ってみました。まだなれないので、中国の人々のようには出来ませんが、今からどしどし作ります。百姓はこうゆう[ママ]芸術を知りませんでした、この版画こそは、誰でも出来る芸術です。今からもどしどし作ります。今まで作ったものを箕田先生が持つて行ってくれるはずです。

では今からどしどし感想の手紙をかいてみんなお送りするとはれ[ママ]きっております。

さようなら。

一九五二年三月一〇日

山元中学校三年

佐藤藤三郎

内山嘉吉様

*文中の=は判読不能文字、〔〕は筆者注。

- i 『彫刻刀が刻む戦後日本 2つの民衆版画運動』展図録(町田市立国際版画美術館、2022年)には、中国木刻巡回展の開催地をマッピングした地図を掲載した。
- ii 内山嘉吉・奈良和夫著『魯迅と木刻』(研文出版、1981年)、pp.71-73
- iii 箕田源二郎『生活版画の呼びかけ』『教師の友』(新日本教育研究所編集、日本学力向上会発行、1952年2月)pp.28-29
- iv 内山嘉吉『中国版画と私』『中国木版画展』図録(神奈川県立近代美術館、1975年)
- v 作品は『中国木版画展』図録(神奈川県立近代美術館、1975年)に掲載されているほか、神奈川県立近代美術館HPコレクション検索(<https://www.01.musetheque.jp/webmuseum/>)でも、1洪水、15請願の作品画像が閲覧できる。(最終閲覧日2026年2月1日)
- vi 佐藤泉『一九五〇年代、批評の政治学』(中央公論新社、2018年)
- vii 遠山茂樹『解説』『石母田正著作集 第14巻(歴史と民族の発見)』(青木和夫ほか編、岩波書店、1989年)p.412
- viii 池上善彦『近代を問う版画運動』『彫刻刀が刻む戦後日本 2つの民衆版画運動』展図録(町田市立国際版画美術館、2022年)p.80
- ix 石母田正『続 歴史と民族の発見(人間・抵抗・学風)』(東京大学出版会、1953年)pp.148-149



図1 版画文集『炭焼きものがたり』(1951年、木版、内山嘉吉旧蔵・当館蔵)

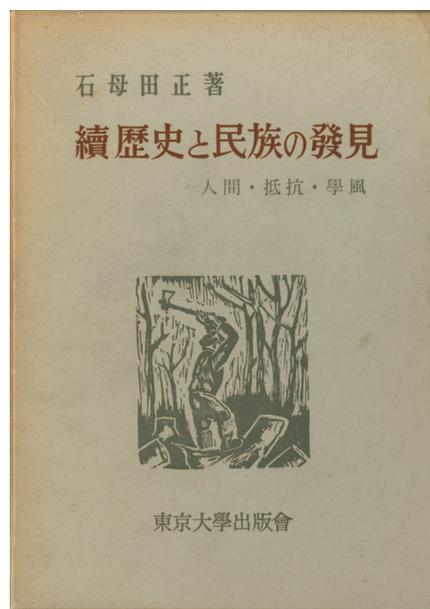


図2 石母田正『続 歴史と民族の発見(人間・抵抗・学風)』(東京大学出版会、1953年)

2024年度 新収蔵作品

以下のリストは2024年度に当館が収蔵した作品の一覧である。

新収蔵という性質上、作品によっては調査続行中のものがある。

そのため各作品とも将来、作品名・制作年、技法等のデータに変更が生じる可能性がある。

リストの順番は原則として作者の生年順とし、同一の寄贈者からの受贈作品はまとめて記載した。

記載順：

番号／作者名(和・英)／生没年／連作名／作品名／制作年／技法／サイズ(mm)／寄贈者(敬称略)／図版掲載の有無

- ・ [] の作品名は仮題。
- ・ サイズは縦×横の順。
- ・ 原則として銅版画は原版(プレートマーク)のサイズ、その他の技法は図柄のサイズを示している。
ただし、紙面が断ち落とされている作品に関してはこの限りではない。
- ・ 支持体は全て紙。

寄贈作品

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
1	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	Giovanni Battista PIRANESI	1720-1778	『ローマの景観』	カメナエ神殿	1773年	エッチング	470×702	中田真理子 松澤由利子	
2	ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ	Giovanni Battista PIRANESI	1720-1778		ヴィッラ・アドリアーナ廃墟	1774年	エッチング	435×570	中田真理子 松澤由利子	1
3	フランソワ・ボンヌヴィル	François BONNEVILLE	1787-1802活動		ミラボー伯爵	1796年	ステイップル・エンブレ・ヴィング	214×134	渡邊愛理	
4	エドメ・ケネディ	Edmé QUENEDEY	1756-1830		フィジオノトラスによるルイ=ベルナル・ギュイトン・ド・モルヴォーの肖像	18-19世紀前半	エッチング、アクアチント	158×109	渡邊愛理	
5	編：ノエル=マリー・ペマル・ルルブール	Noël-Marie Paymal LEREBOURS	1807-1873	『ダゲリアンたちの世界旅行』	フイレンツェのシニョーリア広場	1840-43年刊	アクアチント他	146×202	渡邊愛理	
6	編：ノエル=マリー・ペマル・ルルブール	Noël-Marie Paymal LEREBOURS	1807-1873		パリの7月革命記念柱	1840-43年刊	アクアチント他	284×232	渡邊愛理	
7	アシール・ドヴェリア	Achille DEVÉRIA	1800-1857	『国民議会議員のギャラリー』	ルドリュ=ロラン	1848年刊	リトグラフ	390×273	渡邊愛理	2
8	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『泳ぐ人たち』	第19図	1839/ 1840年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
9	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第20図	1839/ 1840年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
10	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『パリの胸騒ぎ』	第9図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
11	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第11図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
12	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第17図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
13	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第19図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
14	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第20図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
15	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第24図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
16	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第1図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
17	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
18	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	3
19	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
20	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『青鞥派』	第14図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
21	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第16図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
22	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第21図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
23	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第22図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
24	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第24図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
25	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第27図	1844年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
77	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『泳ぐ女たち』	第4図	1847年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
78	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第5図	1847年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
79	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第12図	1847年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
80	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第13図	1847年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
81	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『離婚したがる女たち』	第1図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
82	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
83	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
84	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『アトリエ風景』	第2図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
85	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
86	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1848年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
87	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『女性社会主義者たち』	第1図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
88	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
89	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
90	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
91	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第5図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
92	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
93	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第7図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
94	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第8図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
95	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第9図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
96	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第10図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
97	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『平和会議みやげ話』	第1図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
98	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
99	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
100	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	第6図	1849年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
101	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『サロンの公衆』	第1図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
102	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
103	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
104	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第5図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
105	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第12図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
106	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	第13図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
107	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『鉄道で見られる表情』	第1図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
108	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
109	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
110	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
111	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
112	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第7図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
113	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	第10図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
114	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『日々のできごと』	第59図	1852年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
115	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第111図	1851年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
116	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第117図	1854年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
117	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第146図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
118	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第414図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
119	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第34図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
120	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第40図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
121	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第55図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
122	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第62図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
123	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第79図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
124	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第84図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
125	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『熱狂的壺愛好家』	第1図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
126	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
127	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
128	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第5図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
129	オノレ・ドーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
130	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『万国博覧会』	第7図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
131	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第10図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
132	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第17図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
133	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第19図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
134	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第20図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
135	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第25図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
136	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第27図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
137	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第31図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
138	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第31図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
139	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第33図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
140	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	第34図	1855年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
141	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『畜産展 示会』	第5図	1856年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
142	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『魚の養殖』	第11図	1856年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
143	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1856年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
144	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第5図	1856年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
145	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1856年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
146	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『1857年 のサロン』	第11図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
147	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第2図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
148	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第3図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
149	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第6図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
150	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第4図	1857年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
151	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『1859年 のサロン』	第7図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
152	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879		第11図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
153	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『海水浴場 にて』	第4図	1859年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
154	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『風景 画家』	第3図	1864年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
155	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『ドゥーミエによる気 のいいブルジョワ』	第1図	1864年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
156	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『ブラス リーにて』	第2図	1864年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
157	オノレ・ドゥーミエ	Honoré DAUMIER	1808-1879	『鉄道 にて』	第2図	1864年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
158	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	T.ドロール『生きている花々』	[第1巻 表紙]	1847年刊	木口木版、手彩色	238×180他	田中栄作	
159	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ヤグルマギク、ヒナゲシ	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	
160	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		パンジー	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	
161	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		タバコ	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	
162	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		チューリップ	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	4
163	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		バラ	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	
164	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		スイセン	1847年刊	スチール・エングレーヴィング、手彩色	238×180他	田中栄作	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版	
165	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	T, ド ロ ー ル 『生きて いる花々』	スマイレ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
166	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		スイレン	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
167	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		マートル	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
168	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ツバキ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
169	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ヘリクリサム	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
170	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		スイカズラ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
171	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		オシロイバナ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
172	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		カーネーション	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
173	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ドクニンジン	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
174	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ザクロの花	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
175	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		アマ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
176	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ノイバラ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
177	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ケシ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
178	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		オレンジの花	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
179	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		ウスベニタチアオイ	1847年刊	スチール・エングレイ ving、手彩色	238×180他	田中栄作		
180	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		『動物 たちの 公私に わたる 生活の 情景』	Ah! parleu!	1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作	
181	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847			aussi ne vous étonnez-vous pas	1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作	
182	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Ayant dit ce pauvre invalide		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
183	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	J'espère prouver un jour		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
184	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Plus d'une fois		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
185	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Cette vieille cour appartenait		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
186	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Cette protestation		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
187	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Dès que je mis le pied		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
188	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	J'étais une veuve		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
189	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Le carnaval est la scule		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
190	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Les jeunes lionceaux		1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作		
191	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	Vœux de mariage d'insectes	1842年刊	リトグラフ	245×170他	田中栄作			
192	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	『立世 風変身 譚』	Que pensez-vous de l'expédition	1828-29年 刊	リトグラフ	262×195他	田中栄作		
193	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		Misère, hypocrisie	1828-29年 刊	リトグラフ	262×195他	田中栄作		
194	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		La promenade	1828-29年 刊	リトグラフ	262×195他	田中栄作		
195	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847		Pardon monsieur	1828-29年 刊	リトグラフ	262×195他	田中栄作		
196	J.-J.グランヴィル	J.-J. GRANDVILLE	1803-1847	de l'ensemble donc F...	1828-29年 刊	リトグラフ	262×195他	田中栄作			
197	ガヴァルニ(シュルピス= ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice- Guillaume CHEVALIER)	1804-1866	『女 優』	第2図	1839年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
198	ガヴァルニ(シュルピス= ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice- Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第4図	1839年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
199	ガヴァルニ(シュルピス= ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice- Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第5図	1839年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
200	ガヴァルニ(シュルピス= ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice- Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第7図	1839年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		
201	ガヴァルニ(シュルピス= ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice- Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第8図	1839年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作		

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
202	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866	『ロレットたち』	第20図	1840年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
203	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第35図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
204	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第36図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
205	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第37図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
206	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第38図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
207	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第39図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
208	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第40図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
209	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第41図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
210	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第42図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
211	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第43図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
212	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第45図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
213	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第46図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
214	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第69図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
215	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第71図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
216	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866		第76図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
217	ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ)	GAVARNI (Sulpice-Guillaume CHEVALIER)	1804-1866	『パリの生たち』	第60図	1842年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	5
218	J.ソデール	J. Saudeur	生没年不詳	『パリの区』	第1図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
219	J.ソデール	J. Saudeur	生没年不詳		第2図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
220	J.ソデール	J. Saudeur	生没年不詳		第3図	1843年刊	リトグラフ	369×250他	田中栄作	
221	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		ガス工場	1932年頃	木版	173×246	吉田晃子	
222	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[クレーン]	1932年頃	木版	193×255	吉田晃子	
223	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		鐘紡裏	1932年	木版	230×300	吉田晃子	
224	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		丘	1932-35年	木版	215×290	吉田晃子	
225	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[夏の風景]	1932年	木版	236×300	吉田晃子	
226	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		貨車のある風景	1932-35年	木版	238×330	吉田晃子	
227	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[工場のある風景]	1932-35年	木版	234×296	吉田晃子	
228	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[渡し場]	1932-35年	木版	186×262	吉田晃子	
229	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[駅構内]	1932-35年	木版	190×262	吉田晃子	
230	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[船着き場]	1932-35年	木版	252×361	吉田晃子	
231	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[都会風景]	1935年	木版	258×372	吉田晃子	
232	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[植物園]	1935年	木版	285×370	吉田晃子	
233	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[駅構内]	1935年	木版	293×398	吉田晃子	
234	谷口薫美	TANIGUCHI Kunbi	1909-1964		鉄橋	1933年	木版	179×268	吉田晃子	
235	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		瓦斯工場	1933年	木版	475×603	小野近士	6
236	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		露地	1933年	木版	490×610	小野近士	
237	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		将軍(妄想)	1934年	木版	610×470	小野近士	
238	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		難性とジャズ	1934年	木版	500×613	小野近士	
239	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		金を求める人々	1934年	木版	468×610	小野近士	
240	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		山道(鳳来寺山)	1936年	木版	246×308	小野近士	
241	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		興津海岸	1936年	木版	250×320	小野近士	
242	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		木曾上流(木曾路初秋、木曾風景)	1936年	木版	245×308	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
243	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		木曾上流(木曾路初秋、木曾風景)	1936年	木版	245×308	小野近士	
244	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		夜学教師(画稿)	1937年	木版	600×480	小野近士	
245	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		休日	1938年	木版	650×990	小野近士	
246	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		鴉の町(名寄)	1938年	木版	504×626	小野近士	
247	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		少年	1938年	木版	306×244	小野近士	
248	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		少年	1950年	木版	272×216	小野近士	
249	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		出発	1950年	木版	304×353	小野近士	
250	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		出発(絵馬)	1950年	木版	304×353	小野近士	
251	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		街	1951年	木版	305×455	小野近士	
252	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		街(水辺)	1951年	木版	305×460	小野近士	
253	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		工場	1952年	木版	379×306	小野近士	
254	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		けむり	1955年	木版	295×456	小野近士	
255	東一雄	AZUMA Kazuo	1910-2000		春の鱒加工場	1938年	木版	328×380	小野近士	
256	末木東留	SUEKI Toru	生没年不詳		雨の木場	1933年	木版	226×304	小野近士	
257	末木東留	SUEKI Toru	生没年不詳	13号 『新版画』	木倉	1935年刊	木版	121×182	小野近士	
258	飯野農夫也	IINO Nobuya	1913-2006		風景	1942年	木版	334×238	小野近士	
259	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		日田風景	1933年	木版	118×146	小野近士	
260	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		日田の農家	1933年	木版	100×116	小野近士	
261	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		福岡風景(街)	1934年頃	木版	152×102	小野近士	
262	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		福岡風景(寺院)	1934年頃	木版	100×150	小野近士	
263	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		花	1934年頃	木版	125×112	小野近士	
264	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		秋甜	1934年頃	木版	256×332	小野近士	
265	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986	18号 『新版画』	魚	1935年刊	木版	160×123	小野近士	
266	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		小田ノ池	1935年	木版	315×395	小野近士	
267	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		少女像	1935年頃	木版	385×291	小野近士	
268	宇治山哲平	UJIYAMA Teppei	1910-1986		塔影	1937年	木版	360×450	小野近士	
269	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986	11号 『新版画』	学校にて	1933年刊	木版	180×98	小野近士	
270	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		山近く	1933年	木版	376×502	小野近士	
271	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		こども	1934年頃	木版	328×242	小野近士	
272	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		花もつ少女	1935年	木版	168×120	小野近士	
273	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		少女と椅子	1935年	木版	375×260	小野近士	
274	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		群光	1935年	木版	101×152	小野近士	
275	江端芳市	EBATA Yoshiichi	1899-1986		石膏像のある壁附近	1936年頃	木版	288×369	小野近士	
276	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		幼女像	1932年	木版	276×215	小野近士	
277	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991	8号 『新版画』	古い街(小さな手帖より)	1933年刊	拓摺か	110×82	小野近士	
278	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		[影]		木版	134×157	小野近士	
279	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991	7号 『新版画』	支那芝居	1933年刊	木版	163×225	小野近士	
280	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		蒙古人の想	1933年	木版(白い用紙に墨摺)	274×249	小野近士	
281	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		蒙古人の想	1933年	木版(赤い用紙に墨摺)	239×264	小野近士	
282	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		ジブシイの母子	1933年	木版	254×214	小野近士	
283	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		ジブシイの母子	1933年	木版	254×214	小野近士	
284	大田耕士	OTA Koshi	1909-1998		支那芝居	1938年頃	エッチング	180×120	小野近士	
285	河合光	KAWAI Hikaru	1909-1991		海辺	1933年	木版	192×224	小野近士	
286	河合光	KAWAI Hikaru	1909-1991		海辺	1933年	木版	170×194	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
287	河合光	KAWAI Hikaru	1909-1991		波止場	1933年	木版	256×199	小野近士	
288	河合光	KAWAI Hikaru	1909-1991		八月の海	1933年	木版	242×335	小野近士	
289	河合光	KAWAI Hikaru	1909-1991	11号 『新版画』	競馬場	1933年刊	木版	134×170	小野近士	
290	[北澤博]	KITAZAWA Hiroshi	生没年不詳		裏町の雪	1938年	木版	180×120	小野近士	
291	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996		瓦焼の家族	1933年	木版	132×166	小野近士	
292	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996	8号 『新版画』	労働者	1933年刊	木版	150×220	小野近士	
293	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996		[曲馬]	1933年	木版(赤い用紙に墨摺)	160×229	小野近士	
294	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996	11号 『新版画』	晩婦農村	1933年刊	木版	132×166	小野近士	
295	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996	9号 『新版画』	家族	1933年刊	木版	156×226	小野近士	
296	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996		[労働者]		木版	228×158	小野近士	
297	菊池善二郎	KIKUCHI Zenjiro	1911-1996		汽車待つ人びと	1935年	木版	150×195	小野近士	
298	北岡文雄	KITAOKA Fumio	1918年		街	1942年	木版	363×304	小野近士	
299	栗田周	KURITA Shu	生没年不詳		工場内	1938年	木版	373×474	小野近士	
300	栗田雄	KURITA Yu	1895-1961		郊外	1922年	木版	250×340	小野近士	
301	栗田雄	KURITA Yu	1895-1961		冬の公園	1922年	木版	238×295	小野近士	
302	栗田雄	KURITA Yu	1895-1961		小駅	1922年	木版	221×330	小野近士	
303	黒木貞雄	KUROGI Sadao	1909-1984		岩	1935年	木版	305×370	小野近士	
304	上阪雅人	KOSAKA Gajin	1877-1953		風景	1941年頃	木版	284×380	小野近士	
305	上阪雅人	KOSAKA Gajin	1877-1953		山門	1942年	木版	195×250	小野近士	
306	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		ブックカバー	1932年	布に木版、パステルか	200×290	小野近士	
307	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986	6号 『新版画』	足尾への峠より男体・中禪寺湖を望む	1932年刊	木版	143×114	小野近士	
308	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		プロフィール		木版	130×97	小野近士	
309	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		[公園のカップル]		木版	170×249	小野近士	
310	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		白い家	1932年?	木版	210×262	小野近士	
311	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		面のある静物	1932年	木版	300×404	小野近士	
312	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		しだ	1932年	木版	204×142	小野近士	
313	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		紙芝居	1933年	木版	169×240	小野近士	
314	佐伯留守夫	SAEKI Rusuo	1912-1986		素焼きをつくる	1933年	木版	290×397	小野近士	
315	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		青年	1932年	木版	430×380	小野近士	
316	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		眠ってる男	1933年	木版	158×304	小野近士	
317	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		眠ってる男	1933年	木版	190×321	小野近士	
318	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		静物	1935年頃	木版	281×368	小野近士	
319	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		浅草松竹座	1934年	木版か	238×160	小野近士	
320	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		月島渡船場	1934年	木版か	240×380	小野近士	
321	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		渡航場	1934年	木版か	240×382	小野近士	
322	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		銀座裏	1934年	木版か	251×340	小野近士	
323	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		伊豆風景	1935年頃	木版か	240×290	小野近士	
324	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011	17号 『新版画』	山	1935年刊	木版	149×183	小野近士	
325	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011	18号 『新版画』	伊豆白浜	1935年刊	木版	151×206	小野近士	
326	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		芝浦風景	1936年頃	木版か	260×370	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
327	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		塔	1942年	木版か	100×101	小野近士	
328	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		伊豆の窓	1942年	木版か	60×100	小野近士	
329	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		花	1942年	木版か	68×73	小野近士	
330	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		港	1942年	木版か	112×160	小野近士	
331	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		窓に立つ少女	1942年	木版	170×117	小野近士	
332	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		海	1951年	合羽版	208×424	小野近士	
333	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		川	1952年	合羽版	192×255	小野近士	
334	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		花	1956年	木版他	220×222	小野近士	
335	杉本義夫	SUGIMOTO Yoshio	1905-2001		静物	1932年	木版	190×250	小野近士	
336	杉本義夫	SUGIMOTO Yoshio	1905-2001		風景	1933年	木版	240×331	小野近士	
337	杉本義夫	SUGIMOTO Yoshio	1905-2001		熊の川風景	1933年	木版	226×304	小野近士	
338	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		機関庫(スケッチ)	1932年	木版	180×242	小野近士	
339	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		案内人の話(白岩小屋にて)	1932年	木版	176×158	小野近士	
340	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		ラグビー	1933年	木版	180×242	小野近士	
341	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		鉄工所	1933年	木版	235×217	小野近士	
342	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013	9号 『新版画』	下田河口	1933年刊	木版	151×215	小野近士	
343	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		築地本願寺	1934年	木版	168×220	小野近士	
344	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		札幌風景	1934年?	石膏版	137×183	小野近士	
345	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		札幌風景	1934年?	石膏版	137×183	小野近士	
346	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		ゴーリキー「夜の宿」		木版	155×229	小野近士	
347	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		[小屋]		木版	170×120	小野近士	
348	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		[密集する建物]		木版	247×340	小野近士	
349	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		楽屋		木版	246×357	小野近士	
350	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		[駅構内]		木版	270×407	小野近士	
351	武田(鈴木)健夫	TAKEDA (SUZUKI) Takeo	1913-2013		題名不詳(イラスト)		墨(手彩)	155×130	小野近士	
352	谷口薫美	TANIGUCHI Kunbi	1909-1964		雪の校舎	1933年	木版	192×326	小野近士	
353	谷口薫美	TANIGUCHI Kunbi	1909-1964		三好橋	1933年	木版	232×335	小野近士	
354	大道寺達	DAIDOJI Susumu	1912-2005		人魚と漁夫	1941年	木版	160×114	小野近士	
355	段塚青一	DANZUKA Seiichi	1900-1984		廃屋	1934年	木版	174×283	小野近士	
356	段塚青一	DANZUKA Seiichi	1900-1984		[漁]	1935年頃	木版	185×142	小野近士	
357	段塚青一	DANZUKA Seiichi	1900-1984		[静物]	1935年頃	木版	123×170	小野近士	
358	新田穰	NITTA Jo	1905-1949		風景	1932年	木版	152×224	小野近士	
359	新田穰	NITTA Jo	1905-1949	6号 『新版画』	南紀風景(滝)	1932年刊	木版	220×297	小野近士	
360	新田穰	NITTA Jo	1905-1949		風景	1932年	木版	166×238	小野近士	
361	畑野織蔵	HATANO Orizo	1908-1992		風景(畑)	1936年	木版	193×226	小野近士	
362	畑野織蔵	HATANO Orizo	1908-1992		風景	1940年頃	木版	236×246	小野近士	
363	畑野織蔵	HATANO Orizo	1908-1992		滞船	1942年	木版	296×476	小野近士	
364	畑野織蔵	HATANO Orizo	1908-1992		緑の風景	1949年	木版	360×296	小野近士	
365	平塚運一	HIRATSUKA Un'ichi	1895-1997		安土風景	1931年	木版	315×397	小野近士	
366	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		飛行機(スケッチ)	1935年	筆、彩色	282×389	小野近士	
367	堀一恵	HORI Kazue	生没年不詳		牛込見附風景		木版	228×300	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
368	堀一恵	HORI Kazue	生没年不詳	『新版画』 12号	ボンボン蒸気	1934年刊	木版	128×126	小野近士	
369	堀一恵	HORI Kazue	生没年不詳		ボンボン蒸気	1934年刊	木版	128×126	小野近士	
370	堀一恵	HORI Kazue	生没年不詳		猫	1935年頃	木版	130×100	小野近士	
371	堀一恵	HORI Kazue	生没年不詳		橋	1935年	木版	151×177	小野近士	
372	松尾醇一郎	MATSUO Jun'ichiro	1901-1945?		風景	1938年頃	木版	272×370	小野近士	
373	松尾醇一郎	MATSUO Jun'ichiro	1901-1945?		鉄橋のある風景	1938年頃	木版	298×376	小野近士	
374	松尾醇一郎	MATSUO Jun'ichiro	1901-1945?		停車場	1938年頃	木版	125×170	小野近士	
375	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		荒川暮色(薄暮荒川風景)	1934年	木版	222×296	小野近士	
376	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		[眼鏡橋]	1934年頃	木版	344×407	小野近士	
377	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		[静物]	1951年	エッチング、アクアチント	227×207	小野近士	
378	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		[水門]	1952年	エッチング、アクアチント	152×347	小野近士	
379	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		土手下の家	1954年頃	エッチング、アクアチント	223×157	小野近士	
380	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		[静物]	1955年	エッチング	220×306	小野近士	
381	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	3号『新版画』	女習作	1932年刊	木版	200×180	小野近士	
382	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	4号『新版画』	聖母病院(落合風景)	1932年刊	木版	228×178	小野近士	
383	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	6号『新版画』	U子の肖像	1932年刊	木版	196×159	小野近士	
384	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		聖母礼賛	1932年	木版	300×240	小野近士	
385	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		緑衣	1932年	木版	232×164	小野近士	
386	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		静夜	1932年	木版	234×162	小野近士	
387	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		ピエタ	1932年	木版	210×328	小野近士	
388	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	7号『新版画』	ジョゼフ・スタンバーグ	1933年刊	木版	130×160	小野近士	
389	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	8号『新版画』	兆(きざし)	1933年刊	木版	110×183	小野近士	
390	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	『新版画』 9号	ツタンカーメン王の義母ネフルチニ像	1933年刊	木版	144×136	小野近士	
391	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		ツタンカーメン王の義母ネフルチニ像	1933年刊	木版	144×136	小野近士	
392	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	11号『新版画』	機械を動かす女	1933年刊	木版	173×130	小野近士	
393	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		女の顔	1933年	石版	150×110	小野近士	
394	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		漁婦	1933年	木版、手彩色か	260×173	小野近士	
395	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		水道橋風景	1933年	木版	189×247	小野近士	
396	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		水道橋風景	1933年	木版	189×247	小野近士	
397	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		病院下	1933年	木版	257×210	小野近士	
398	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		静物	1933年	木版	127×137	小野近士	
399	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		芽	1933年	木版	152×145	小野近士	
400	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		白衣	1933年	木版	328×240	小野近士	
401	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		婦人像	1933年	木版	164×166	小野近士	
402	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		婦人像[机に肘をつけて座る女]	1933年	木版	248×288	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
403	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		樹	1933年	木版	190×240	小野近士	
404	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		天使ガブリエル	1933年	木版	244×220	小野近士	
405	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		キリスト復活	1933年	木版	280×255	小野近士	
406	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		勝利と栄光〔2枚組〕	1933年	木版	右255×142/ 左255×155	小野近士	
407	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	14号 『新版画』	病院の女	1934年刊	木版	162×122	小野近士	
408	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	『新版画』 16号	婦人像	1935年刊	木版	180×129	小野近士	
409	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		婦人像	1935年刊	木版	180×129	小野近士	
410	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980	『新版画』 18号	顔	1935年刊	木版	150×136	小野近士	
411	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		顔	1935年刊	木版	150×136	小野近士	
412	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		婦人像	1935年	木版	170×158	小野近士	
413	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		みみずく	1935年	木版	187×140	小野近士	
414	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		外房風景	1935年	木版	146×209	小野近士	
415	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		漁家	1935年	木版	168×224	小野近士	
416	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		清水正博像	1935年	エッチング(セピア)	100×70	小野近士	
417	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		清水正博像	1935年	エッチング(黒)	100×70	小野近士	
418	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		1936年年賀状	1935年	木版	151×102	小野近士	
419	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		アマリリス	1935年	木版	216×212	小野近士	
420	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		バイナッブル	1935年	木版	210×258	小野近士	7
421	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		静物	1938年	木版	180×120	小野近士	
422	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		アネモネ	1941年	木版	302×250	小野近士	
423	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		海辺小景	1933年	エッチング	102×120	小野近士	
424	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		[室内から見る風景]		エッチング	111×130	小野近士	
425	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		山村風景		エッチング	130×162	小野近士	
426	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		[工場]		エッチング(セピア)	67×102	小野近士	
427	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		雉頭	1934年?	エッチング	150×120	小野近士	
428	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		裸婦		エッチング	270×216	小野近士	
429	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		水郷日田	1934年	エッチング	202×260	小野近士	
430	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		鶯笛	1932年頃	木口木版	70×100	小野近士	
431	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982	『新版画』 16号	大阪堂島川	1935年刊	木口木版	100×106	小野近士	
432	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		大阪堂島川	1935年刊	木口木版	100×106	小野近士	
433	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		並倉(大分県日田町)		木版	232×320	小野近士	
434	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		日田銭湯橋		木版	163×190	小野近士	
435	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		[河辺風景]		木版	130×176	小野近士	
436	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		[浴場]		木版	145×145	小野近士	
437	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		川沿い風景 ※台紙の裏面に「浴室」貼り込み		木版	105×159	小野近士	
438	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		浴室		木版	145×144	小野近士	
439	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		[海辺風景]		木版	145×145	小野近士	
440	武藤完一	MUTO Kan'ichi	1892-1982		油壺		木版	145×145	小野近士	
441	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		夜の日本橋	1931年	木版	242×333	小野近士	
442	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		東京駅	1932年	木版	230×330 (欠損あり)	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
443	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		お濠にて〔濠ばた〕	1932年	木版	173×332	小野近士	
444	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	1号 『新版画』	街の屋根	1932年刊	木版	157×255	小野近士	
445	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	4号 『新版画』	都市礼讃(東京駅)	1932年刊	木版	93×144	小野近士	
446	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	5号 『新版画』	エクスリプリスA、B	1932年刊	木版	A80×164/ B71×74	小野近士	
447	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	6号 『新版画』	富士	1932年刊	木版	165×225	小野近士	
448	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		工場	1933年	木版	212×332	小野近士	
449	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		赤い屋根〔水槽(小笠原風景)〕	1935年	木版	227×314	小野近士	
450	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	18号 『新版画』	小笠原母島	1935年刊	木版	112×156	小野近士	
451	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		〔国旗〕		木版	100×150	小野近士	
452	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		〔富国〕		木版	151×100	小野近士	
453	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		梨	1932年頃	石版(網目版使用)	244×366	小野近士	
454	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		あらし	1930年代 前半	石版(網目版使用)	370×250	小野近士	
455	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		池	1930年代 前半	石版(網目版使用)	123×165	小野近士	
456	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		幼児(寝る子)	1937年	石版	240×315	小野近士	
457	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		食事(こども)	1938年頃	石版	210×284	小野近士	
458	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		風景	1941年	石版	265×355	小野近士	
459	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		立てる童子	1942年	石版	330×230	小野近士	
460	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		いねむり	1942年	石版	316×270	小野近士	
461	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		童子	1942年	石版	330×280	小野近士	
462	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		滝	1942年	石版	407×256	小野近士	
463	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		〔海辺〕	1942年	石版	235×295	小野近士	
464	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	1号 『新版画』	堀に沿ふ道	1932年刊	木版	234×180	小野近士	
465	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	『新版画』 2号	風景A	1932年刊	木版	132×170	小野近士	
466	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		風景B	1932年刊	木版	142×178	小野近士	
467	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	『新版画』 3号	枇杷	1932年刊	木版	160×224	小野近士	
468	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		胡瓜	1932年刊	木版	68×155	小野近士	
469	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	5号 『新版画』	鐘が淵風景	1932年刊	木版	100×147	小野近士	
470	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	6号 『新版画』	雪光る(アルプス連峯)	1932年刊	木版	125×170	小野近士	
471	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		川畔の家	1932年	木版	170×226	小野近士	
472	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		川畔の家	1932年	木版	170×226	小野近士	
473	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		盛夏風景		木版	202×288	小野近士	
474	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		〔屋根と煙突と樹〕		木版	312×250	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
475	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	11号 『新版画』	街頭に踊る	1933年刊	木版	171×152	小野近士	
476	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972	14号 『新版画』	窓外風景	1934年刊	木版	132×172	小野近士	
477	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		山中湖	1935年	木版	246×338	小野近士	
478	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		横浜風景	1935年頃	木版	220×304	小野近士	
479	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		坂道	1935年?	木版	160×218	小野近士	
480	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		題名不詳(銅像のある風景)	1930年代	木版	131×178	小野近士	
481	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		題名不詳(住宅街風景)	1930年代	木版	215×147	小野近士	
482	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		[花]	1930年代	木版	165×163	小野近士	
483	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	1号 『新版画』	裸婦	1932年刊	木版	310×160	小野近士	
484	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	3号 『新版画』	裸婦	1932年刊	木版	128×127	小野近士	
485	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	4号 『新版画』	日比谷公園音楽堂	1932年刊	木版	135×183	小野近士	
486	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	5号 『新版画』	掘鑿機	1932年刊	木版	200×234	小野近士	
487	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007		執行正俊の舞踊劇「コツペリヤ」 コツバリウの踊	1932年	木版	254×104	小野近士	
488	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007		試作「写楽」	1932年	木版	410×382	小野近士	
489	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007		試作「写楽」	1932年	木版	410×382	小野近士	
490	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	7号 『新版画』	バレエ舞台コムポジション	1933年刊	木版	150×171	小野近士	
491	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007	9号 『新版画』	西域の女	1933年刊	木版	220×95	小野近士	
492	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007		粉ひき	1933年?	木版	238×300	小野近士	
493	吉原正道	YOSHIWARA Masamichi	1910-2007		マレーヌ・ディートリヒの顔		木版	178×222	小野近士	
494	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947	4号 『新版画』	荒川風景	1932年刊	木版	134×190	小野近士	
495	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947		綾瀬川風景	1932年頃	木版	210×318	小野近士	
496	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947		工場の煙	1932年	木版	210×308	小野近士	
497	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947		千住風景	1933年	木版	210×300	小野近士	
498	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947		題名不詳(荒川風景)		木版	210×300	小野近士	
499	蓬田兵衛門	YOMOGIDA Heiemon	1882または86-1947		荒川放水路	1933年	木版	208×308	小野近士	
500	[吉原正道]	YOSHIWARA Masamichi	1910-没年不詳		SHINHANGA創刊号ポスター	1932年	木版	333×243	小野近士	
501	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		第1回新版画集団展覧会ポスター	1932年	木版	537×268	小野近士	
502	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		第1回新版画集団展覧会ポスター	1932年	木版	537×268	小野近士	
503	作者不詳				新版画集団第1回展看板 (藤牧義夫の木版画)	1932年	木版、手描き	647×520	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
504	作者不詳				新版画集団第1回展覧会看板	1932年	木版	940×375	小野近士	
505	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		新版画集団第2回展ポスター	1933年	木版	552×270	小野近士	
506	大久保一	OKUBO Hajime	1911-1991		新版画集団第2回展ポスター (奉天・八幡町)	1933年	木版	464×310	小野近士	
507	谷口薫美	TANIGUCHI Kunbi	1909-1964		新版画集団展覧会ポスター (徳島展)	1933年	木版	496×307	小野近士	
508	作者不詳				東京新版画集団展覧会ポスター (岐阜展)	1933年	木版	546×264	小野近士	
509	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		新版画第3回展ポスター	1933年	木版	548×335	小野近士	
510	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		新版画集団小品展ポスター	1934年	木版	513×406	小野近士	
511	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		新版画集団4回展ポスター	1934年	石版	549×265	小野近士	
512	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		新版画集団4回展ポスター	1934年	石版	549×265	小野近士	
513	藤牧義夫	FUJIMAKI Yoshio	1911-1935 消息不明		版画アンデパンダン展ポスター	1934年	石版	394×273	小野近士	
514	作者不詳				東京風景版画展ポスター	1934年	木版	540×238	小野近士	
515	作者不詳				新版画集団6回展ポスター	1936年	手彩	590×453	小野近士	
516	作者不詳				新版画集団小品展ポスター	1935年	木版	471×354	小野近士	
517	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		造型版画協会第1回展ポスター	1937年	木版	718×523	小野近士	
518	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		3回造型版画展ポスター	1939年	木版	595×310	小野近士	
519	作者不詳				第4回造型版画協会展ポスター	1940年	石版	542×274	小野近士	
520	斎藤清	SAITO Kiyoshi	1907-1997		第5回造型版画展ポスター	1941年	石版	590×285	小野近士	
521	作者不詳				第7回造型版画展ポスター	1941年	木版	545×233	小野近士	
522				『新版画七人集』	表紙	1936年刊		298×247(タトウ)	小野近士	
	水船六洲	MIZUFUNE Rokushu	1912-1980		貝類	1936年刊	木版	115×145	小野近士	
	畑野織蔵	HATANO Orizo	1908-1992		小品夜景	1936年刊	木版	148×104	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		ガードある風景	1936年刊	木版	175×130	小野近士	
	吉田正三	YOSHIDA Masazo	1906-1972		横浜風景	1936年刊	木版	146×201	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		横浜風景	1936年刊	木版	115×160	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		紫陽花	1936年刊	木版	77×63	小野近士	
	末木東留	SUEKI Toru	生没年不詳		湖のある風景	1936年刊	木版	128×184	小野近士	
柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979	後向く老婆	1936年刊	木版	220×182	小野近士			
523				『造型版画協会小品集』	表紙	1937年刊		298×247(タトウ)	小野近士	
	矢田卿二	YADA Keiji	1907-1965		崖と道	1937年刊	石版	122×152	小野近士	
	小野忠重	ONO Tadashige	1909-1990		影をあらそふ	1937年刊	木版	114×182	小野近士	
	末木東留	SUEKI Toru	生没年不詳		少女	1937年刊	木版	182×137	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		裸婦習作	1937年刊	木版	150×160	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		白い家	1937年刊	木版	130×176	小野近士	
524				『新版画集団小品版画集』1	表紙			314×244(紙寸)	小野近士	
	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		街の屋根		木版	153×232	小野近士	
	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		あゆ		木版	120×223	小野近士	
	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		雨の夜の銀座		木版	143×182	小野近士	
	武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995		日子ノ像		木版	190×130	小野近士	
武藤六郎	MUTO Rokuro	1907-1995	富士		木版	170×219	小野近士			
525				『新版画集団小品版画集』2	表紙			320×244(紙寸)	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		足について		木版	97×159	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		夜叉門附近		木版	130×199	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		農夫		木版	82×67	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		老婆		木版	87×78	小野近士	
	柴秀夫	SHIBA Hideo	1907-1979		汽車の中		木版	153×143	小野近士	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
526				『新版画集団小品版画集』5	表紙			320×252(紙寸)	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		不忍池畔		木版	152×200	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		山荘		木版	95×92	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		戦すんで		木版	103×154	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		案内者		木版	238×164	小野近士	
	松下義雄	MATSUSHITA Yoshio	1908-1993		自画像		木版	140×108	小野近士	
527				『新版画集団小品版画集』6	表紙			318×252(紙寸)	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		手燭 [蔵書票]		木版	87×65	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		少女		木版		小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		踊る		木版	三枚続 各80×50	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		夜 銀座にて		木版	151×141	小野近士	
	清水正博	SHIMIZU Masahiro	1914-2011		朝 屋上にて		木版	158×225	小野近士	
528	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		私の門に触れるな	1961年刊	リトグラフ	558×406	田中紘	
529	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	版画集『レダ』	第1図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
530	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
531	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第3図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
532	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
533	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第5図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
534	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第6図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
535	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7図	1962年刊	リトグラフ	665×520他	田中紘	
536	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		エヴァII	1965年刊	リトグラフ	590×447	田中紘	
537	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		風船ガム	1967年刊	リトグラフ	270×286	田中紘	
538	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		しまのブラウス	1969年刊	リトグラフ	650×500	田中紘	
539	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		赤と青	1969年刊	リトグラフ	500×650	田中紘	
540	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		美女と野獣	1969年刊	リトグラフ	650×500	田中紘	
541	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	『ソロモンの雅歌』	第1章第16節／ほんとにあなたも美しい、私の愛する人よ。／すてきよ、私たちの寝床は、緑の茂みよ。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
542	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第1章第16節／ほんとにあなたも美しい、私の愛する人よ。／すてきよ、私たちの寝床は、緑の茂みよ。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
543	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2章第3節／森の木々の中の林檎のように、私の愛する人は、／若者たちの中にいる。／彼の木蔭に、私はほんとに座りたい。彼の果実／は、私の口に甘い。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
544	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2章第3節／森の木々の中の林檎のように、私の愛する人は、／若者たちの中にいる。／彼の木蔭に、私はほんとに座りたい。彼の果実／は、私の口に甘い。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
545	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2章第9節／私の愛する人は、カモシカや若い雄鹿のよう。／ほら、私たちの壁の後ろで立っている。窓からのぞき、格子窓から見つめている。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
546	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2章第9節／私の愛する人は、カモシカや若い雄鹿のよう。／ほら、私たちの壁の後ろで立っている。窓からのぞき、格子窓から見つめている。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
547	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4章第1節／ほんとに君は美しい。／君の眼は鳩、／ヴェールの後から見える。／君の髪はギリアドの山から跳び下る／山羊の群れのよう。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
548	パウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4章第1節／ほんとに君は美しい。／君の眼は鳩、／ヴェールの後から見える。／君の髪はギリアドの山から跳び下る／山羊の群れのよう。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
549	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	『ソロモンの雅歌』	第4章 第5節／君の二つの乳房は、二匹の子鹿、／双子のカモシカのように、百合の間で草を食んでいる。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
550	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4章 第5節／君の二つの乳房は、二匹の子鹿、／双子のカモシカのように、百合の間で草を食んでいる。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
551	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4章 第9節／ほくの妹、花嫁よ、君はほくの心をときめかす。／君のひと眼も、／君の首飾りのひと玉も、ほくの心をときめかす。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
552	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4章 第9節／ほくの妹、花嫁よ、君はほくの心をときめかす。／君のひと眼も、／君の首飾りのひと玉も、ほくの心をときめかす。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
553	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第5章 第4節／私の愛する人は、穴から手を差し入れた。私の／胸中は、彼のために、立ち騒ぐ。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
554	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第5章 第4節／私の愛する人は、穴から手を差し入れた。私の／胸中は、彼のために、立ち騒ぐ。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
555	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7章 第2節／なんて美しいの、サンダルをはいた君の足取りは、／高貴な娘さん。／君の腿のしなう様は、名匠の手の業の、装身具のよう。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
556	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7章 第2節／なんて美しいの、サンダルをはいた君の足取りは、／高貴な娘さん。／君の腿のしなう様は、名匠の手の業の、装身具のよう。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
557	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7章 第3節／君のからだは、ユリに囲まれた小麦の山。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
558	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7章 第3節／君のからだは、ユリに囲まれた小麦の山。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘	
559	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	第7章 第8節／君の立っている姿は、なつめ椰子のようだ。／君の乳房は、その実の房。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘		
560	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	第7章 第8節／君の立っている姿は、なつめ椰子のようだ。／君の乳房は、その実の房。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘		
561	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	第7章 第3節／君のからだは、ユリに囲まれた小麦の山。	1969年刊	リトグラフ	604×500他	田中紘		
562	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	ウィーンの子供(第2版)	1970年	リトグラフ	564×767	田中紘		
563	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	『黄昏』	第11図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
564	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第2図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
565	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第3図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
566	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第4図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
567	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第5図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
568	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第6図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
569	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
570	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第8図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
571	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第6図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
572	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010		第7図	1971年刊	リトグラフ	747×570他	田中紘	
573	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	女主人と犬	1971年	リトグラフ	660×505	田中紘		
574	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	羽根かざりの帽子と黒いコート	1973年	リトグラフ	543×412	田中紘		
575	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	オランピア I	1977年	リトグラフ	615×875	田中紘		
576	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	オランピア II	1977年	リトグラフ	607×874	田中紘		
577	バウル・ヴンダーリヒ	Paul WUNDERLICH	1927-2010	夜想曲	1983年	リトグラフ	591×459	田中紘		
578	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997	詩10編『私の処女』		1958年	エッチング、印刷	236×158	佐藤陽子(遺贈)	8

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
579	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女(扉)	1958年	エッチング	60×97	佐藤陽子(遺贈)	
580	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女1	1958年	エッチング	162×77	佐藤陽子(遺贈)	
581	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女2	1958年	エッチング、アクアチント	102×133	佐藤陽子(遺贈)	
582	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女3	1958年	エッチング、アクアチント	98×135	佐藤陽子(遺贈)	
583	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女4	1958年	エッチング、アクアチント	95×133	佐藤陽子(遺贈)	
584	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女5	1958年	エッチング、アクアチント	100×133	佐藤陽子(遺贈)	
585	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女6	1958年	エッチング、アクアチント	134×103	佐藤陽子(遺贈)	
586	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女7	1958年	エッチング	136×105	佐藤陽子(遺贈)	
587	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女8	1958年	エッチング、アクアチント	135×95	佐藤陽子(遺贈)	
588	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女9	1958年	エッチング、アクアチント	133×103	佐藤陽子(遺贈)	
589	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私の処女10	1958年	エッチング	135×103	佐藤陽子(遺贈)	
590	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		樹木	1961年	ドライポイント、ルーレット	182×158	佐藤陽子(遺贈)	
591	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		矩形	1961年	ドライポイント、ルーレット	210×150	佐藤陽子(遺贈)	
592	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		水曜日の犬の散歩	1962年	ドライポイント、ルーレット	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
593	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		ミスとミセス	1964年	ドライポイント、ルーレット	363×260	佐藤陽子(遺贈)	
594	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		鏡の前の女	1964年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
595	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		受胎告知	1964年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	400×365	佐藤陽子(遺贈)	
596	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		私は何も食べたくない	1964年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
597	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		素晴らしい訪問者	1964年	ドライポイント、ルーレット	365×333	佐藤陽子(遺贈)	
598	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		天使の不在	1964年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	118×110	佐藤陽子(遺贈)	
599	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		花を持つ少女(初版)	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
600	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		同じ種類	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
601	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		鏡の中の青	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	342×365	佐藤陽子(遺贈)	
602	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		花園にて	1965年	ドライポイント、ルーレット、エッチング	365×340	佐藤陽子(遺贈)	
603	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		Something 2	1966年	ドライポイント、ルーレット、ビュラン	455×403	佐藤陽子(遺贈)	
604	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		欲望の原理 [赤]	1966年	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、ビュラン	455×408	佐藤陽子(遺贈)	
605	池田満寿夫	IKEDA Masuo	1934-1997		手の意味	1966年	ドライポイント、ルーレット、メゾチント、ビュラン	402×316	佐藤陽子(遺贈)	
606	多賀新	TAGA Shin	1946年生まれ		闇からの追放	1973年	エッチング、アクアチント	365×220	越水茂	
607	利涉重雄	RISHO Shigeo	1948年生まれ		昴(こう)	1985年	銅版画	365×600	齋藤洋	
608	坂東壮一	BANDO Soichi	1937年生まれ		秋の声	1987年	銅版画	313×206	齋藤洋	
609	柄澤齊	KARASAWA Hitoshi	1950年生まれ		死と変容 夢または流刑	1988年	木口木版	156×211	齋藤洋	
610	柄澤齊	KARASAWA Hitoshi	1950年生まれ		死と変容Ⅱ 洪水11、洪水B	1990年	木口木版	254×204	齋藤洋	
611	柄澤齊	KARASAWA Hitoshi	1950年生まれ		死と変容Ⅱ 洪水 一滴	1990年	木口木版	162×60	齋藤洋	
612	柄澤齊	KARASAWA Hitoshi	1950年生まれ		『四重奏Ⅰ～Ⅳ』	1991年	木口木版	360×245	齋藤洋	
613	山形県南村山郡山元村山元中学校	Yamamoto-mura Yamamoto Junior High School, Minami-Murayama District, Yamagata Prefecture		「版画がたり」(全14点)の		1951年	木版	380×270	内山籬	9
614	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		MODERN FRIENDSHIP- II	1981年頃	木版	900×800	松下葉子 松下冬子	
615	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		Water line-2	1981年頃	木版	700×600	松下葉子 松下冬子	
616	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		Waterline in the dark-1	1984年頃	木版	700×500	松下葉子 松下冬子	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
617	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		Waterline in the dark-2	1984年頃	木版	700×500	松下葉子 松下冬子	
618	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		Waterline in the dark-3	1984年頃	木版	700×500	松下葉子 松下冬子	
619	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		RAINY DAY-1	1986年頃	木版	800×600	松下葉子 松下冬子	
620	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		SQUALL-1	1987年頃	木版	490×670	松下葉子 松下冬子	
621	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		SEED	1989年頃	木版	600×860	松下葉子 松下冬子	
622	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		Medicine・・・	1990年頃	木版	550×800	松下葉子 松下冬子	
623	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		砂の山	1991年頃	木版	580×820	松下葉子 松下冬子	
624	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		風の吹く日	1991年頃	木版	820×580	松下葉子 松下冬子	
625	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		風の部屋	1992年頃	木版	760×560	松下葉子 松下冬子	
626	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		風の吹く場所	1995年頃	木版	720×510	松下葉子 松下冬子	
627	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		見えない視線	1996年頃	木版	750×560	松下葉子 松下冬子	
628	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		雨音	1997年頃	木版、コラグラフ	560×750	松下葉子 松下冬子	
629	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		そして星は眠りにつく	2001年頃	木版	750×560	松下葉子 松下冬子	
630	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		空の話を聴いたのは	2005年	木版	750×560	松下葉子 松下冬子	
631	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		森の空・雨の後で	2006年頃	木版	560×750	松下葉子 松下冬子	
632	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		星座を巡る5つの話	2013年	木版	390×540	松下葉子 松下冬子	
633	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		空のカタチ	2018年	木版	540×390	松下葉子 松下冬子	
634	松下サトル	MATSUSHITA Satoru	1957-2023		ソラのオモイデ	2022年	木版	540×390	松下葉子 松下冬子	
635	フィリップ・ブラン	Philippe BLANC	生年不詳		無題	1975年	リトグラフ	398×569	塩田みはる	
636	ジョルジュ・ダイエーズ	Georges DAYEZ	1907-1991		無題	1977年	リトグラフ	447×737	塩田みはる	
637	ダヴッド・エムダディアン	Davood EMDADIAN	1944-2005		晴れ間	1980年	リトグラフ	460×605	塩田みはる	
638	アブラハム・ハダド	Abraham HADAD	1937年生まれ		室内	1978年	リトグラフ	443×620	塩田みはる	
639	アリ・カレッド	Ali KHALED	生年不詳		パルミール	1979年	エッチング、アクアチント	495×397	塩田みはる	
640	ミシェル・サルスマン	Michel SALSMANN	生年不詳		鳥の畑	1979年	リトグラフ	381×269	塩田みはる	
641	阿部浩	ABE Hiroshi	1946年生まれ		いくつかの正方形	1973年	リトグラフ	542×426	塩田みはる	
642	城所祥	KIDOKORO Sho	1934-1988		無題	1982年	木口木版	90×61	塩田みはる	
643	大沢昌助	OSAWA Shosuke	1903-1997		そして 笑う	1995年	木版	198×288	塩田みはる	
644	八木なぎさ	YAGI Nagisa	生年不詳		無題	不明	リトグラフ	217×155	塩田みはる	
645	アティッラ・アタル	Atila ATAR	1944年生まれ		無題	1991年	リトグラフ	550×745	塩田みはる	
646	アティッラ・アタル	Atila ATAR	1944年生まれ		無題	2009年	リトグラフ	382×532	塩田みはる	
647	マノリス・シャロス	Manolis CHAROS	1960年生まれ		船	1982年	リトグラフ	355×502	塩田みはる	
648	アリエル・モスコヴィッツ	Ariel MOSCOVICI	1956年生まれ		無題	1992年	アクアチント、エッチング	654×499	塩田みはる	
649	フィリップ・ゲドン	Philippe GUESDON	1952年生まれ		ポスター：フィリップ・ゲドン展 (パリ、ギャルリー・ル・オー＝パ ヴエ)	1982年	スクリーンプリント	770×510	塩田みはる	
650	作者不詳				ポスター：アーティストが制作し 手動プレス機で印刷したオリジ ナル・リトグラフ展(パリ、ピュ ロー)	1982年	スクリーンプリント	583×404	塩田みはる	
651	作者不詳				ポスター：エコール・デ・ボザ ールにおける中央美術学院(北京) の版画100展(パリ、パレ・デ・ゼ チュード)	1985年	印刷	620×400	塩田みはる	

番号	作者(日)	作者(英)	生没年	連作名	作品名	制作年	技法	サイズ(mm)	寄贈者	図版
652	ケシャヴ・マッラー	Keshav MALLA	生年不詳		親密さ	1977年	スクリーンプリント	503×381	塩田みはる	
653	ケシャヴ・マッラー	Keshav MALLA	生年不詳		刷新	1980年	スクリーンプリント	472×440	塩田みはる	
654	マリー・ダルジャン	Marie DARGENT	生年不詳		無題	1980年	リトグラフ	502×660	塩田みはる	
655	リ・ジャギョン	LI Ja-gyong	生年不詳		無題	1977年	スクリーンプリント	332×602	塩田みはる	
656	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		無題	1975年	リトグラフ	660×501	塩田みはる	
657	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		1、2、3	1977年	リトグラフ	570×529	塩田みはる	
658	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		遠い山	1991年	スクリーンプリント	610×460	塩田みはる	
659	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		アナトリーの旅	1992年	スクリーンプリント	404×569	塩田みはる	
660	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		代々木の細道	1993年	リトグラフ、 スクリーンプリント	480×330	塩田みはる	
661	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		ここまでのおいで	不明	リトグラフ、 スクリーンプリント	483×389	塩田みはる	
662	塩田みはる	SHIOTA Miharuru	1947年生まれ		三毛と逃げて行くグリーズ	1994年	リトグラフ、 スクリーンプリント	370×490	塩田みはる	

寄贈資料

番号	資料概要	寄贈者	点数
1	フランス近代雑誌コレクション	田中栄作	52
2	19世紀フランスの写真に基づく新聞挿絵	渡邊愛理	1
3	明治期引札ほか	渡辺紀子	167
4	小野忠重スケッチ帖	小野近士	35
5	新版画集団、造型版画協目録	小野近士	27
6	山元中学校・中国木刻展と反響 内山嘉吉宛書簡ほか	内山籬	9
7	田中誠一撮影 版画家肖像写真	伊佐恵美子	837



1 ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ
《ヴィッラ・アドリアーナ廃墟》 1774年



2 アシール・ドヴェリア
《ルドリュ＝ロラン》 1848年刊



3 オノレ・ドーミエ 『青鞥派』第3図
1844年刊



4 J.-J.グランヴィル T.ドロール『生きている花々』チューリップ
1847年刊



5 ガヴァルニ(シュルピス=ギヨーム・シュヴァリエ) 『パリの学生たち』第60図 1842年刊



6 小野忠重 《瓦斯工場》 1933年



7 水船六洲 《パイナップル》 1935年



8 池田満寿夫 『私の処女』詩10編 1958年



9 山形県南村山郡山元村山元中学校
『版画 炭焼きものがたり』(全14点) 1951年

2024年度 展覧会の記録

【企画展示室】

<p>「版画の青春 小野忠重と版画運動 —激動の1930-40年代を版画に刻んだ若者たち—</p> <p>2024年3月16日(土)～5月19日(日)</p>	56日間 総入場者数	5,245人
<p>昭和期に活躍した版画家であり版画史研究者でもあった小野忠重(1909-1990)を中心に1932年に結成された「新版画集団」、その発展的グループとして1937年に結成され、戦後1950年代まで活動を継続した「造型版画協会」、これらのグループによる版画運動の諸相を小野忠重の旧蔵品を中心とした約300点の作品によって紹介した。</p> <p>第一部で新版画集団、第二部で造型版画協会に関して展示し、第一部は第1章(2節に分類)、第2章(2節に分類)で構成した。第二部は全3章で構成した。また全体で6つのコラム展示を設け、2つのグループの関心や課題意識を取りあげた。具体的な展示構成は次のとおり。</p> <p>第一部 新版画集団—「版画の大衆化を掲げて」</p> <p>第I章 1932年—「新版画集団」結成 第1節：版画誌『新版画』創刊(～第6号)／第2節：第1回展の開催</p> <p>第II章 1933-36年—版画運動の進展と解散 第1節：版画誌『新版画』発行の継続(第7号～18号)</p> <p>第2節：版画の大衆化に向けて—時代を映す多様な版画の制作</p> <p>コラム1：第1回版画アンデパンダン展特別陳列「版画に於ける組織的的制作」について／コラム2：江戸東京風景版画展の開催／コラム3：さまざまな版画集の発行</p> <p>第二部 造型版画協会(戦前を中心に)—絵画的充実を目指して</p> <p>第I章 1937年—「造型版画協会」結成 結成時のメンバーと戦前の作品</p> <p>第II章 1938-43年—戦時下での活動 新たな会員と公募出品者</p> <p>コラム4：造型版画協会第2回展での「現代仏蘭西版画」の特別陳列／コラム5：「日本の銅版画と石版画の歴史」展の開催／コラム6：造型版画協会第6回展での「小林清親 井上安治」の特別陳列</p> <p>第III章 戦後、あらたな時代へ 運動の継続と表現の模索</p> <p>また本展では、1930-40年代という激動の時代に「新版画集団」や「造型版画協会」という版画グループに加入し、版画運動に熱中した青年たちが、如何にこの時代を超えようとしたかを考えること、また、明治期終わりに登場し、まだ30年にも満たなかった「創作版画」の、いわば「青春期」を振り返る機会ともした。</p> <p>なお、本展開催を機に、小野忠重遺族から、小野忠重旧蔵の新版画集団と造型版画協会の関連作品と美術資料の寄贈申し出をいただき、2024年度開催の美術資料収集委員会を経て収蔵した。</p>		
<p>主催：町田市立国際版画美術館 特別協力：和歌山県立近代美術館</p>		
<p>印刷物：図録(B5判変形、全192頁)、チラシ、ポスター、DM</p>		
<p>図録執筆者：滝沢恭司(担当学芸員)、三木哲夫(兵庫陶芸美術館館長)、町村悠香(当館学芸員)</p>		
<p>関連行事</p>	<p>参加者総数</p>	<p>322人</p>
<p>◆記念講演会 「1930年代日本の版画 小野忠重と藤牧義夫を中心に」 講師：原田光(無言館お手伝い、元岩手県立美術館館長)</p>	<p>4月14日(日)</p>	<p>41人</p>
<p>◆鼎談 「知られざる版画運動 新版画集団と造型版画協会の若き版画家と作品」 出演：三木哲夫(兵庫陶芸美術館館長)、西山純子(千葉市美術館学芸員)、滝沢恭司(担当学芸員)</p>	<p>4月28日(日)</p>	<p>47人</p>
<p>◆子ども講座 「みてみてつくろう」(鑑賞と創作) 講師：杉浦幸子(武蔵野美術大学教授) 制作指導：上村牧子(当館普及係学芸員)</p>	<p>3月25日(土)</p>	<p>24人</p>
<p>◆プロムナード・コンサート 「ピアノの音色で蘇る記憶」 演奏：塩谷遙(ピアニスト) 協力：当館管理係</p>	<p>4月27日(土)</p>	<p>153人</p>
<p>◆ギャラリートーク 担当学芸員：滝沢恭司</p>	<p>3月17日(日) 4月21日(日)</p>	<p>57人</p>

「幻想のフラヌール—版画家たちの夢・現・幻」 2024年6月1日(土)～9月1日(日)	80日間 総入場者数	7,940人
<p>版画を見る者や版画家の幻想的な世界を映し出す「鏡」とみなし、その魅力を紹介した展覧会。夢と現実と幻を揺蕩うかのような作品世界を生み出す版画家を、フランス語で「遊歩者」を意味する「フラヌール」に喩え、展覧会名とした。また、企画協力に美術評論家の相馬俊樹氏をむかえ、計25人の版画家たちの作品を9つのテーマで分類・紹介し、約150点の収蔵作品で展覧会を構成した。章構成と作家は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刻線の魔力(木村茂、木原康行、門坂流) ・〈エロス〉の形態学(パウル・ヴンダーリヒ、ヨルク・シュマイサー、多賀新、ハンス・ベルメール) ・時空の〈アナモルフォーシス〉(エリック・デマジエール、星野美智子) ・神話の〈イマジネール〉(エルンスト・フックス、藤川汎正、蒲地清爾) ・生・命・力(池田俊彦、山田彩加、西村沙由里) ・語り、詠う幻像たち(小林ドンゲ、清原啓子、アンティエ・グメルス) ・夢の敷居(坂東壯一、渡辺千尋) ・鏡像の宇宙(加藤清美、日和崎尊夫) ・腐蝕の傷痕(ホルスト・ヤンセン、菊池伶司) <p>以上のように、不可思議なモチーフや奇妙なフォルムで魅了する作品だけでなく、日常を幻想に変容させたかのような作品も紹介することで、既存の幻想観の刷新を企図した。また文学作品を靈感源とした作家や、小説の装丁に作品が採用された作家などを通じて、絵と言葉、そして版画とイラストレーションの親和性を浮かび上がらせることをもねらった。</p> <p>また、夏休みにあわせて当館の美術館教育担当学芸員が、子ども向けキャプションとワークシートを作成。作品の細部に注目したり、作品を見比べたり、見て考えたことを伝えたりすることを促すことを狙った。難解な作品も分かり易く解説したキャプションは、大人にも好評であった。くわえて相馬俊樹氏による評論と、担当学芸員による解説を掲載した小冊子を3,200部作成した。各作家の作品世界の魅力に迫る内容で、16頁ながら充実したものとなった。また、アンケートに図録を求める声が多く寄せられた。</p>		
主催：町田市立国際版画美術館 企画協力：相馬俊樹		
印刷物：小冊子(A5、全16頁、無料配布)、子ども向けワークシート(A4)、チラシ、ポスター、DM		
関連行事	参加者総数	291人
◆記念対談 「谷川渥×相馬俊樹」 登壇：谷川渥(美学者)、相馬俊樹(美術評論家)	6月22日(土)	68人
◆ワークショップ 「幻想採取 コラージュで作るイメージの標本匣」 講師：池田俊彦(銅版画家) 協力：当館普及係	8月24日(土)	10人
◆プロムナードコンサート 「音で誘う幻想的な廻廊へ」 出演：岩谷明石(ヴァイオリン)、永易理恵(ピアノ) 協力：当館管理係	7月14日(日)	147人
◆ギャラリートーク 担当学芸員：藤村拓也	6月8日(土) 7月27日(土) 8月10日(土)	66人

「両大戦間のモダニズム：1918-1939 煌めきと戸惑いの時代」 2024年9月14日(土)～12月1日(日)	68日間 総入場者数	9,704人
<p>第一次世界大戦と第二次世界大戦の狭間にあたる「両大戦間」という時代に焦点を当てた展覧会。新しい社会への期待感と不安感がせめぎ合う時代を「煌めきと戸惑い」というキーワードで表現し、自動車やアール・デコのファッションなどからインスピレーションを得た現代への賛美ともいえる作品や、戦争の惨禍を深く刻み込んだ作品、近代化への抵抗を表現した作品など約230点を展示した。館蔵品を中心に構成し、両大戦間の都市文化を象徴するファッション雑誌などの資料は、ファッション・プレートのコレクターである伊藤紀之氏から借用した。</p> <p>全4章で構成し、第1章「両大戦間に向かって：Before 1918」ではプロローグとして、19世紀末から第一次世界大戦終結までの世相を反映した諷刺雑誌や、戦争を主題とするオットー・ディックスらの版画を展示した。第2章「煌めきと戸惑いの都市物語」では1920年代の都市文化に焦点を当て、パリとニューヨークのファッション雑誌や挿絵本、市井の人々の生活を描いたベルリンの版画集、モスクワやサンクトペテルブルクで刊行された子ども向け絵本などを展示した。第3章「モダニズムの時代を刻む版画」では、1920～30年代の芸術運動という切り口から、本年に誕生100周年を迎えたシュルレアリスム、両大戦間の銅版画リバイバルを主導したジャン＝エミール・ラブルールと独立版画家協会、ソニア・ドローネーら先駆的な画家による抽象画などを取り上げた。第4章「両大戦間を超えて：After 1939」ではエピローグとして第二次世界大戦勃発後の美術の展開を辿り、戦中もヨーロッパに留まった長谷川潔、ジャン・フォートリエらの作品と、アメリカに渡った亡命芸術家らの作品を対比させるように紹介した。</p> <p>広報物には、両大戦間に広まったアール・デコのデザインの感覚を取り入れ、エドゥアール・アルーズが描いたファッションブルな女性像をメインビジュアルに使用した。インパクトのあるビジュアルが好評を得て、SNS広告をきっかけに来館したという声が来館者アンケートで多く見受けられた。一方で、二つの戦争に翻弄されながらも創作活動を続けた芸術家たちの作品にも多くの反響があり、会期中はウェブメディアとSNSを中心に複数の展覧会レビューが寄せられた。</p>		
主催：町田市立国際版画美術館		
印刷物：図録(B5、全184頁)、チラシ、ポスター、DM		
図録執筆者：鴻野わか菜(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)、副田一穂(愛知県美術館学芸員)、野澤広紀(群馬県立館林美術館学芸員)、川添愛奈(当館学芸員)、高野詩織(担当学芸員)、滝沢恭司(当館学芸員)、藤村拓也(当館学芸員)		
関連行事	参加者総数	386人
◆記念講演会 「両大戦間のファッションを語ったポショワール版画 —ファッション・プレート史を踏まえて— 講師：能澤慧子(東京家政大学名誉教授)	10月12日(土)	72人
◆こどものための鑑賞会 講師：富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	11月9日(土)	29人
◆プロムナード・コンサート 「煌めきの奏者たち」 演奏：桜美林大学芸術文化学群、玉川大学芸術学部 協力：当館管理係	9月21日(土)	140人
◆ギャラリートーク 担当学芸員：高野詩織	9月29日(日) 11月2日(土)	65人
◆第26回ゆうゆう版画美術館まつり関連イベント 「ステンシルで作品を完成させよう！」 担当学芸員：川添愛奈、高野詩織 ※詳細は鑑賞・美術館教育事業の「2 イベント」(p.34)に記載。	10月27日(日)	80人

「2024年度新収蔵作品展 Present for you」 2025年1月5日(日)～2月16日(日)	37日間 総入場者数	18,716人
2023年度下半期から2024年度上半期にかけて新たに収蔵された1,370点の中から、主な作品・資料約60点を展示。主な出品作家は小野忠重(1909-1990)、野見山暁治(1920-2023)、池田満寿夫(1934-1997)、平野杏子(1930年生まれ)、柄澤齊(1950年生まれ)、ジョアン・ミロ(1893-1983)、アントニ・タピエス(1923-2012)、エミール・ツビンデン(1908-1991)など。		
主催：町田市立国際版画美術館		
印刷物：出品目録(庁内印刷)		

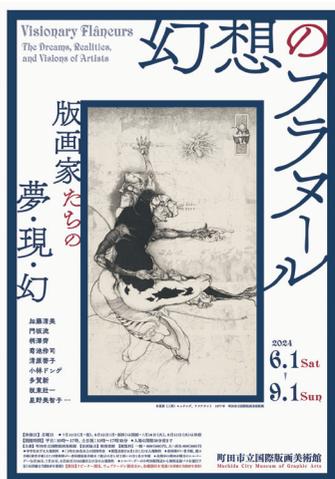
【常設展示室(収蔵品による特集展示)】 印刷物：出品目録(庁内印刷)

第1期 日本のグラフィック・デザイナーと版画 2024年3月13日(水)～5月26日(日)	65日間 総入場者数	8,635人
永井一正(1929年生まれ)、横尾忠則(1936年生まれ)、和田誠(1936-2019)を中心に、戦後から現代にかけて活躍してきたグラフィック・デザイナーの版画約40点を紹介した。		
第2期 飯田善國の版画と《彫刻噴水・シーソー》 2024年5月29日(水)～9月1日(日)	83日間 総入場者数	6,907人
飯田善國(1923-2006)のウィーン留学時代の1958-59年に手がけた銅版画や、詩人・西脇順三郎とのコラボレーションで生まれた『クロマトポイエマ』(1972年)、『うしなわれないことば』(1994年)など約30点の版画作品を展示。芹ヶ谷公園内の《彫刻噴水・シーソー》にも着目し、飯田による構想時のドローイングや設置時のエンジニアリングの工夫、昨年行った改修工事の様子を紹介した。		
第3期 明治時代の歴史物語—月岡芳年を中心に 2024年9月4日(水)～12月1日(日)	77日間 総入場者数	10,697人
月岡芳年の作品を中心に、明治時代に描かれた浮世絵のなかでも歴史を題材としたものに焦点を当てた。芳年の代表作として知られる挿物『大日本名将鑑』、『新形三十六怪撰』、『月百姿』のほか、水野年方、右田年英、尾形月耕、小林清親の作品もあわせて展示した。前期後期で展示替えをおこない、出品総数は72点。明治期における歴史画の多様性について紹介した。		
第4期 『月映』とその時代—1910年代日本の創作版画 2025年1月5日(日)～3月9日(日)	55日間 総入場者数	21,078人
東京美術学校の学生であった恩地孝四郎、藤森静雄、田中恭吉の3人によって発行された版画誌『月映』を紹介した。町田市立国際版画美術館所蔵の公刊第3号、5号、6号、7号のなかから一部の作品を選んで展示し、発刊から110年を迎えた『月映』の表現を振り返った。また、岸田劉生や萬鉄五郎らの同時代の版画も展示し、1910年代の表現傾向を再考した。		

「版画の青春
小野忠重と版画運動
—激動の1930-40年代を
版画に刻んだ若者たち—」



「幻想のフラヌール
— 版画家たちの夢・現・幻 —」





「両大戦間のモダニズム：
1918-1939
煌めきと戸惑いの時代」



2024年度 鑑賞・美術館教育事業

1 展覧会における作成物

展覧会を子どもから大人まで誰もが楽しめるよう、ワークシートや子ども向けの作品解説などを通じて鑑賞体験をサポートした。

<p>1. 「幻想のフラヌール—版画家たちの夢・現・幻」展 ジュニア向けワークシート、解説パネル等</p> <p>主に10代を対象とした作品鑑賞のためのワークシート(A4両面印刷)と、会場マップや注意点をまとめた補足資料1枚を作成し、子どもや希望者に配布した。低年齢向けにクイズも掲載した。ワークシートと合わせて作品を鑑賞できるよう、会場の入り口には導入パネルを、各章にはジュニア向けの作品解説パネルを設置した。ワークシートとパネルは、子どもだけでなく一般の来場者にとっても作品鑑賞の手助けとなるように内容を工夫した。</p>
<p>2. 「両大戦間のモダニズム：1918-1939 煌めきと戸惑いの時代」展 子ども向け解説パネル等</p> <p>小学生以下を主な対象として、子ども向けの作品解説を作成した。会場内で通常の作品解説と並べ、子どもの目線の高さに設置した。出品作であるロシアの子ども向け工作絵本から紙人形を再現し、作品の横に設置するなど、子どもの関心を引く要素を取り入れた。</p>

2 イベント

鑑賞・美術館教育に関するさまざまなイベントを実施した。

実施日程	場所	担当者、講師等	イベント名/事業名	参加人数
2024/10/27(日) 10:00~16:00	エントランスホール	川添愛奈、高野詩織 型紙作成：三村萌嘉(当館会計年度任用職員学芸員)	「両大戦間のモダニズム：1918-1939」展関連イベント 「ステンシルで作品を完成させよう！」	80人
第26回ゆうゆう版画美術館まつりに合わせて実施。出品作のロシアの絵本や竹久夢二の版画をもとにしたステンシルの作品づくり。スタンプを使って好きな色づかいでステンシルを完成させる内容で、所要時間は15分程度。色版を1枚と2枚に分けて難易度を変え、子どもから大人まで参加できるようにした。				
2024/11/9(土) ①10:15~11:30 ②13:15~14:30	講堂、企画展示室 1・2	川添愛奈、高野詩織、 富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	「両大戦間のモダニズム：1918-1939」展関連イベント 「こどものための鑑賞会」	29人 (定員各回10組、申込順)
0歳~未就学児とその保護者を対象に実施。講堂で保護者に向けてガイダンスを行い、子どもたちにこれから見る作品を印刷したのを見せてクイズ等を行った後、展覧会場に移動。講師がピックアップした作品や子どもたちが興味を持った作品を取り上げて講師と学芸員が説明を行ったり、参加者の発言を聞くなど双方向的なやり取りで進行。鑑賞後は講堂に戻り、保護者から感想を聞くなどして振り返りを行った。				
2024/12/18(水) 14:00~16:00	会議室	川添愛奈、 富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	小さな子供連れの美術鑑賞についての職員向け研修会	11人
未就学児を連れた来館者が気兼ねなく美術館を訪れることができる環境を整えるため、当館職員を対象に研修を実施した。研修内容は乳幼児への理解と対応、乳幼児期における美術鑑賞の意義等について。講師は豊富な実例を用いて説明を行った。また、職員同士の意見交換も行われ、知識と理解を深めることができた。				
2024/2/1(土) 14:00~17:00	エントランスホール	川添愛奈、 富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)	はなが美術館鑑賞イベント「つながる・つたえる美術館」	102人 (36組)
第38回小学校図画工作展に来場する家族層を主な対象とし、当館収蔵の3作品をエントランスホールに展示した作品鑑賞イベント。年齢や知識の有無に関係なく、誰でも美術鑑賞を楽しむことができるということを周知することを目的に実施。数組の参加者を一区切りにし、講師によるガイダンスの後、参加者が自由に意見を述べながら作品を鑑賞する形式を採用した。大人も子どもも自由に発言し、主体的に鑑賞する姿が見られた。				
2025/2/11(火・祝) ①10:30~12:30 ②14:00~16:00	講堂	川添愛奈、 協力：ALPS PICTURES INC.	映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」 (監督：三好大輔、川内有緒 上映時間107分)上映会	127人 (定員各回80名、先着順)
2023年2月16日に劇場公開されたドキュメンタリー映画の上映会を実施した。同映画はノンフィクション書籍『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』(川内有緒著、集英社インターナショナル、2021年)を原案とし、全盲の美術鑑賞者である白鳥建二とその友人たちがアート作品をめぐる旅や日常を追うものである。上映会の実施により、美術作品の多様な鑑賞方法を紹介し、当館における多様な鑑賞方法の土壌を醸成することを目的とした。				
2025/3/29(土) 13:30~16:00	講堂、 企画展示室1・2	町村悠香、宮崎黎、上村牧子、 杉浦幸子(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)	「日本の版画1200年—受けとめ、交わり、生まれ出る」 展関連イベント「子ども講座—みてもみてつくろう— 思いをこめて☆版画でふやす《大切なもの》」	15人 (定員15人、先着順)
小学3~6年生を対象とした鑑賞と制作イベント(参加費1000円)。講師によるガイダンス、司会のもと、学芸員による説明を伴って展覧会を鑑賞。講堂で出品作品にちなんだテーマで小さな版画作品(スタンプと布)を制作した。詳細は普及係事業の「1 版画講座」の「13 子ども講座②」(p.40)に記載。				

3 学校教育への協力

町田市内および近隣の小学校から大学をはじめとして、収蔵作品に関するさまざまなプログラムや見学対応を実施した。

実施日	場所	担当者、講師	実施内容(参加人数)	内容
2024/6/9(日)	企画展示室1・2	藤村拓也	【見学対応】 日本大学(39人)	学芸員の説明後「幻想のフラヌール：版画家たちの夢・現・幻」展を団体鑑賞。
2024/6/14(金) 9:30～15:30	企画展示室、常設展示室、 会議室ほか	サンアメニティ (総合管理受託業者)、 川添愛奈ほか	【職場体験学習】 東海大学付属相模高等学校中等部 (3年生、5人)	清掃・インフォメーション・警備・設備の見学と一部実践。美術館の魅力等を紹介するPOP作り。
2024/6/30(日)	企画展示室1・2	藤村拓也	【見学対応】 跡見学園女子大学(21人)	学芸員の説明後「幻想のフラヌール：版画家たちの夢・現・幻」展を団体鑑賞。
2024/7/9(火)	企画展示室1・2	藤村拓也	【見学対応】 東京都立大学国際センター 「留学生向けプログラム」(19人)	学芸員の説明後「幻想のフラヌール：版画家たちの夢・現・幻」展を団体鑑賞。
2024/7/18(木)	企画展示室1・2	藤村拓也	【見学対応】 東京造形大学(22人)	学芸員の説明後「幻想のフラヌール：版画家たちの夢・現・幻」展を団体鑑賞。
2024/7/27(土)	企画展示室1・2	藤村拓也	【見学対応】 東京造形大学(8人)	学芸員の説明後「幻想のフラヌール：版画家たちの夢・現・幻」展を団体鑑賞。
2024/7/30(火)～8/3(土) (計5日間)10:30～16:30	企画展示室、常設展示室、 講堂ほか	当館学芸員、 大久保純一ほか	学芸員実習(16人)	施設見学、講義、学芸業務補助、教育普及業務補助、グループワーク等。
2024/9/28(土)	企画展示室1・2	大久保純一、高野詩織	【見学対応】 武蔵大学(13人)	館長と学芸員の説明後「両大戦間のモダニズム：1918-1939」を団体鑑賞。
2024/10/10(木)	町田市立山崎中学校 美術室	上村牧子、川添愛奈、 宮崎黎	【出張授業】 山崎中学校 「浮世絵を通して木版画を知ろう」 (2年生、94人)	学芸員が中学校を訪問し、浮世絵と木版画について講義と鑑賞会を実施。詳細は普及係事業の「2 学校教育への協力」の「3 出張授業」(p.41)に記載。
2024/10/31(木)	企画展示室、常設展示室、 講堂	川添愛奈、上村牧子、 高野詩織、渡辺利江	【学校対応講座】 学校法人角川ドワンゴ学園N中等部 町田キャンパス1～3年生(12人)	学芸員による展示説明と鑑賞、技法や道具の講義と摺り体験を実施。詳細は普及係事業の「2 学校教育への協力」の「4 学校対応講座」(p.41)に記載。
2024/10/31(木)	企画展示室1・2	高野詩織	【見学対応】 東京大学(9人)	学芸員の説明後「両大戦間のモダニズム：1918-1939」を団体鑑賞。
2024/11/28(木)	講堂、企画展示室1・2	川添愛奈、高野詩織	【連携授業】 高ヶ坂小学校・ 町田市立国際版画美術館 (4年生、49人)	北澤剛岡画工作科教諭による事前授業を経て実地見学。学芸員の説明後、3グループに分かれて「両大戦間のモダニズム：1918-1939」を団体鑑賞。
2025/1/17(金)	会議室、企画展示室1・2、 常設展示室	宮崎黎、川添愛奈	【学校対応講座】 東京都立大学国際センター 「留学生向けプログラム」(19人)	会議室にて学芸員が英語で浮世絵の講義を行い、作品鑑賞と質疑応答。次に学芸員が展示解説を日本語で行い、引率者が通訳。その後展覧会場に移動し、自由鑑賞。

全13件・参加人数計326人

1 展覧会における作成物



「幻想のフラスノール—版画家たちの夢・現・幻」展ジュニア向けワークシート類



「両大戦間のモダニズム：1918-1939」展子ども向け解説類

2 イベント



こどものための鑑賞会



こどものための鑑賞会



つながる・つたえる美術館



つながる・つたえる美術館

3 学校教育への協力



高ヶ坂小学校4年生連携授業



高ヶ坂小学校4年生連携授業

2024年度 収蔵品貸出記録

「Rose イメージの系譜 ルドゥーテからシャガール、北斎、芦雪、『ベルサイユのばら』まで」 ふくやま美術館 2024年4月5日～6月8日		
1	フランソワ・ブーシェ(原画) ルイ＝マラン・ボネ(版刻)	フローラ
2	アンヌ＝ルイ・ジロデ＝トリオン(原画) イアサント・オーブリー＝ルコント(版刻)	ダナエ
3	小林ドンゲ	薔薇・夜の踊り子
4	小林ドンゲ	薔薇・五月
5	小林ドンゲ	刺青・富士には薔薇がよく似合う

「イリュストラシオン ミュシャとアール・ヌーヴォーの挿絵」 堺 アルフォンス・ミュシャ館 2024年4月6日～7月28日		
1	ウジェーヌ・グラッセ	『エイモンの四人息子』

「めくるめく版画 相模原の作家たち」 相模原市民ギャラリー 2024年7月27日～8月18日		
1	松本旻	新聞(4)
2	松本旻	新聞(8)
3	松本旻	風景から 4-J
4	松本旻	風景から 4-L
5	松本旻	風景から 4-M
6	松山徹	生命のスパイラルⅡ
7	松山徹	地の層
8	松山徹	水の層
9	松山徹	火の層
10	松山徹	風の層
11	松山徹	空の層

「カナレットとヴェネツィアの輝き」 静岡県立美術館 2024年7月27日～9月29日 SOMPO美術館 2024年10月12日～12月28日 京都文化博物館 2025年2月15日～4月13日 山口県立美術館 2025年4月24日～6月22日		
1	カナレット	メストレ
2	カナレット	河岸の眺め
3	カナレット	マルゲラの塔

「ハニワと土偶の近代」 東京国立近代美術館 2024年10月1日～12月22日		
1	吉田穂高	古代人
2	ヨルク・シュマイサー	古事記のためのスケッチ
3	ヨルク・シュマイサー	イザナキとイザナミ
4	ヨルク・シュマイサー	『古事記』より 黄泉比良坂のイザナキ
5	ヨルク・シュマイサー	『古事記』より 凱旋

「サムライ・アート展—刀剣、印籠、武具甲冑、武者絵、合戦絵—」

東京富士美術館 2024年10月12日～12月22日

1	月岡芳年	義経記五條橋之図
2	月岡芳年	月百姿 雨後の山月 時致
3	月岡芳年	月百姿 信仰の三日月 幸盛
4	月岡芳年	月百姿 稲むらか崎の明ほの月
5	月岡芳年	月百姿 志津か嶽月 秀吉
6	月岡芳年	月百姿 雨中月 児嶋高德

「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」

八戸市美術館 2024年10月12日～2025年1月13日

1	魯迅編	『ケーテ・コルヴィッツ版画選集』（復刻版）
2	ケーテ・コルヴィッツ	『農民戦争』第3葉より 鎌を研ぐ
3	古元	北京労働人民文化宮
4	古元	鞍山鉄鋼廠の修復
5	上野誠	『生活版画』（明治図書出版）
6	上野誠	『ヒロシマ三部作』より 男
7	上野誠	『ヒロシマ三部作』より 女
8	上野誠	『ヒロシマ三部作』より ほと

「奇想の版画 帝都プラハを交差するヨーロッパ版画」

郡山市立美術館 2024年11月9日～12月27日

1	ハインリッヒ・アルデグレーファー	ヘラクレスとアンタイオス
2	ハインリッヒ・アルデグレーファー	龍とたたかうヘラクレス
3	ハインリッヒ・アルデグレーファー	貪欲
4	アルブレヒト・アルトドルファー	パリスの審判
5	アルブレヒト・アルトドルファー	聖母の戴冠
6	アルブレヒト・アルトドルファー	人類の墮落
7	アルブレヒト・アルトドルファー	楽園追放
8	アルブレヒト・アルトドルファー	拒絶されるヨアヒムの捧げ物
9	アルブレヒト・アルトドルファー	十字架にかけられるキリスト
10	アルブレヒト・アルトドルファー	十字架をたてる
11	アルブレヒト・アルトドルファー	キリストの磔刑
12	アルブレヒト・アルトドルファー	キリスト降架
13	アントニオ・ダ・トレント	聖ペテロとパウロの殉教
14	ハンス・バルドゥング・グリーン	天使たちに天上に運ばれるキリストの亡骸
15	ゼバルト・ベーハム	貴婦人と死
16	ゼバルト・ベーハム	パリスの審判
17	ゼバルト・ベーハム	ホロフェルネスの首を持つユディト
18	コルネリス・ボス	バッカスの凱旋
19	ヨリス・フーフナーヘル	河岸の風景
20	ピーテル・ファン・デル・ハイデン	傲慢
21	ファン・ドゥテクム兄弟	悔悛するマグダラのマリア
22	ジャック・カロ	14羽飾りのついたターバンをつけた二人のトルコ人
23	ウーゴ・ダ・カルピ	ダヴィデとゴリアテ
24	コルネリス・コルト	荒野で読書する聖ヒエロニムス
25	アルブレヒト・デューラー	ユーフラテス河畔の四人の天使

26	アルブレヒト・デューラー	子羊の前の選ばれし者たち
27	アルブレヒト・デューラー	ネメシス(大運命神)
28	アルブレヒト・デューラー	岐路に立つヘラクレス
29	アルブレヒト・デューラー	聖母子と王冠を捧げる2人の天使
30	ヤーコブ・デ・ヘイン2世	ライオンの穴の中のダニエル
31	ジョルジョ・ギージ	人生の寓意
32	ヘンドリック・ホルツィウス	聖家族
33	ヘンドリック・ホルツィウス	永遠の洞窟(魔術師)
34	ヘンドリック・ホルツィウス	ファルネーゼのヘラクレス
35	ヘンドリック・ホルツィウス	ベルヴェデーレのアポロン
36	ヘンドリック・ホウト	娘を探すケレス
37	ヴェンツェスラウス・ホラー	猫の頭部
38	ルーカス・ファン・レイデン	サムソンとデリラ
39	ルーカス・ファン・レイデン	キリストの荆冠
40	クロード・メラン	聖顔
41	アゴスティーノ・デイ・ムージ	アルノ河からあがる戦士たち
42	アゴスティーノ・デイ・ムージ	ウェヌスとアモール
43	ゲオルク・ベンツ	「愛」の凱旋
44	ゲオルク・ベンツ	「死」の凱旋
45	ゲオルク・ベンツ	キュロス王の首を持つトミュリス
46	マルカントニオ・ライモンディ	バルナツソス山上のアポロン
47	ライモンディ派	巨人族を打ち負かさずゼウス
48	エギディウス・サーデレル	叡智の勝利
49	エギディウス・サーデレル	スプランヘルと妻クリスティーナ・ミュラーの肖像
50	ヤン・ピーテル・サーンレダム	ホロフェルネスの首をもつユディット

「飯田善國展—色は光、光はことば—」

足利市立美術館 2024年11月16日～12月26日

1	飯田善國	よこ向きの生真面目な女
2	飯田善國	ベッドによこたわる女
3	飯田善國	ベッドにあお向けてよこたわる女
4	飯田善國	へびと円光とヌード
5	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)
6	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)
7	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)
8	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)
9	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)
10	飯田善國	無題(彫刻のためのドロイング)

「パウル・クレー展—創造をめぐる星座」

愛知県美術館 2025年1月18日～3月16日 兵庫県立美術館 2025年3月29日～5月25日 静岡市美術館 2025年6月7日～8月3日

1	パウル・クレー	樹上の処女
---	---------	-------

「エド・イン・ブラック 黒からみる江戸絵画」

板橋区立美術館 2025年3月8日～4月13日

1	作者不詳	魚籃観音図
2	万屋清兵衛版	新刊聖蹟図

2024年度 普及係事業

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版画の講習会。様々な種類の版画を体験することができる。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的とする。子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねている。

	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	のべ参加人数	うち小中学生	参加費	
1	銅版画一日教室①	一般 ※高校生以上	版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。12×16cmの銅版を用い、ドライポイント技法で作品を制作。下絵は各受講生が持参。様々な方法で描きこむことにより深みのある作品作りを目指す。講師：馬場知子(版画家)	6/7(金) 10:30~16:30	版画工房	10人	10人	—	3000円	
2	銅版画一日教室②			6/8(土) 10:30~16:30	版画工房	10人	9人	—		
3	リトグラフ一日教室①		各自用意した下絵をもとに、単色のリトグラフ作品を制作する。初心者から参加可。受講生は講師のアドバイスを受けつつ、様々な描画材を使ってアルミ版に描き込むことで、リトグラフならではの表現を体験する。講師：小森琢己(版画家)	9/27(金) 11:00~16:00	版画工房	8人	8人	—		
4	リトグラフ一日教室②			9/28(土) 11:00~16:00	版画工房	8人	8人	—		
5	リトグラフ一日教室③			2025年3/7(金) 11:00~16:00	版画工房	8人	8人	—		
6	リトグラフ一日教室④			2025年3/8(土) 11:00~16:00	版画工房	8人	8人	—		
7	木版画一日教室①		彫刻刀やバレンの持ち方から、絵具の溶き方、刷毛の使い方まで、木版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。単色または2色摺りの年賀状を制作。受講生は講師が用意したさまざまな下絵から好きなものを選び、彫りから摺り(ハガキ30枚程度)までを行った。講師：木下泰嘉(版画家)	11/26(火) 10:30~16:00	アトリエ	16人	16人	—		24000円
8	木版画一日教室②			11/27(水) 10:30~16:00	アトリエ	16人	16人	—		
9	創作講座 スクリーンプリント	感光法(写真製版法)による多色刷りの作品制作を通して、スクリーンプリントの基本的な制作方法を学ぶ。初心者から参加可。画面サイズは21×30cm以内。2~6色のインクで印刷する。下絵は受講生が持参。下絵に写真を用いる場合、希望する受講生には講師が網点加工で3色分解したものを用意した。紙への印刷が基本だが、希望者によりアクリル板や木の板、Tシャツなど布への刷りも指導した。講師：吉永晴彦(版画家)	10/4(金)~11/22(金) 13:30~16:30 全8回	アトリエ	10人	80人	—	24000円		
10	子ども講座① 「1枚だけの版画、水彩モノタイプ」	小学生と保護者	アーティストを講師に招き、美術館で制作を楽しむ。アクリル板に水彩絵の具で描き、プレス機で印刷する「水彩モノタイプ」という版画技法で色鮮やかな多色刷り作品を制作。講師：常田泰由(東京造形大学造形学部美術学科助教)	5/4(土)	アトリエ	16人	14人(7組)	7人	1組2000円	
11	夏期子ども講座① 「どうぶつたちのスポーツ大会」	小学3~6年生	東京学芸大学の学生ボランティア15人と指導教官が企画・指導をおこなう。受講生が持参した下絵をスクリーンプリントの技法で紙とTシャツに印刷。今年はパリオリンピックにちなみ、「どんな動物がどんなスポーツをするかな?」と想像を膨らませた下絵を持参してもらった。背景(グラデーション刷り)と動物の主版(黒インク)の2版を使用。講座終了後、子どもたちの作品と指導にあたった学生の版画作品を市民展示室で展示した。講師：清野泰之(東京学芸大学芸術・スポーツ科学系教授)	7/27(土) 10:30~15:30	アトリエ 版画工房	15人	14人	14人	2000円	
12	夏期子ども講座② 「どうぶつたちのスポーツ大会」			7/28(日) 10:30~15:30	アトリエ 版画工房	15人	15人	15人		
13	子ども講座② 「みてみてつくろうー 「思いをこめて☆ 版画でふやす 《大切なもの》」		展示会を鑑賞し、展示会にちなんだテーマで簡単な版画制作を楽しむ。企画展「日本の版画1200年―受けとめ、交わり、生まれ出る」(3/20~6/15開催)関連事業。展示会を鑑賞し、学芸員から印仏の話聞いたのち、講堂にて制作活動をおこなう。「自分にとって大切なもの」を小さな版画にし、気持ちを込めて摺ることで印仏を追体験する。講師：杉浦幸子(武蔵野美術大学芸術文化学科教授) 版画制作指導：当館学芸員	2025年3/29(土) 13:30~16:00	講堂 企画展示室	15人	15人	15人	1000円	

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などを実施。

版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっている。

事業名	対象	概要	実施日程	会場	参加人数	のべ参加人数	うち小中学生	参加費
1 版画講座	町田市立山崎中学校美術部	ドライポイントプレートを使用した凹版の制作を行う。版の特性を活かし、点描や曲線で描いたり表面を1層めくり取ったりして幅広い表現を楽しんだ。刷るインクは黒、赤、青、緑から各自が選択し、プレス機を使って紙だけではなく布バッグにも印刷した。講師：当館学芸員	8/2(金) 10:00～16:00	版画工房	11人	11人	11人	500円
2 教員研修会等への協力	町田市立山崎中学校教育研究会美術部	町田市中学校教育研究会美術部夏季実技研修会実施にあたり、内容・講師に関する助言、施設、設備・備品利用についての協力をおこなった。専門的な道具や薬品、プレス機がなくても手軽にリトグラフの技法を楽しめる、「キッチンリトグラフ」の制作体験を実施。A5程度の薄い樹脂板にアルミホイルを巻き付け、チョコレートやゲーマトグラフで描画し、コーラを使って製版をした後、版画用油性インクで印刷(銅版画プレス機およびスプーンを使った刷り)。制作後の鑑賞会では、身近なものを使って短時間に制作できる面白さや、刷りの難しさなど感想を伝え合った。講師：木村友香(版画家)	8/23(金) 9:30～13:00	版画工房	9人	9人	—	—
3 出張授業「浮世絵を通して木版画を知ろう」	町田市立山崎中学校2年生	学芸係との連携事業。当館学芸員による歴史的な観点と技術的な観点からの浮世絵についての解説(パワーポイントと動画を使用)を聞いた後、版木や道具、普及用の作品の実物を見る鑑賞会を実施(版木・道具は触れることができる)。美術館が用意したワークシートに気づきを記入した後、質疑応答や感想の発表をおこなう。2年生が2学期に取り組み木版画に合わせて実施することにより、浮世絵についての学びをその制作に活かすことを目指した。学級毎に各回50分で実施。3クラス合計94人が参加した。	10/10(木) 9:50～12:40 ① 9:50～10:40 ② 10:50～11:40 ③ 11:50～12:40	町田市立山崎中学校美術室準備室	94人	94人	94人	無料
4 学校対応講座	学校法人角川ドワンゴ学園N中等部町田キャンパス1～3年生	学芸係との連携事業。企画展・特集展示の鑑賞(学芸員による展示解説)を行った後、様々な版画の技法や道具についての解説(パワーポイントと動画を使用)と、復刻浮世絵版木の摺り体験を実施した。地域の施設に訪れ、実体験・実見をすることで、社会とのつながりを体験する機会を設けることを目的とした授業。	10/31(木) 10:00～12:00	講堂展示室	12人	12人	12人	—
5 版画講座	東京学芸大学教育学部美術講座の学生	アルミ版によるリトグラフの基本的な制作方法を学ぶ。1版単色刷(色インク)にベタ版を加えた2色刷りを制作する。	2025年 2月26日(水) 3月5日(水) (全2回)	版画工房	6人	12人	—	3000円

3 他機関への協力

美術館や大学からの依頼を受けて、調査・研究活動に協力する。

事業名	協力先	概要	実施日程	会場
1 「変奏と自立—現代日本の画家たちの版画」展関連ワークショップ	独立行政法人国際交流基金	国際交流基金所蔵作品による世界巡回の展覧会の関連催事として、インドネシアで開催されるワークショップの企画に協力した。キッチンリトグラフの体験制作を企画し、バンドンの美術大学の学生がボランティアとして参加。現地の高校生を対象とした回と、一般を対象とした回が各1回開催された。	7/26(金)、27(土)	インドネシア、バンドン Galeri Pusat Kebudayaan

4 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催。

作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としている。

1月の小中学校作品展では、美術館を会場とし美術館職員がかかわることで、より質の高い展示を目指している。

	事業名	対象	概要	会期	会場	出品状況	来場者数	うち中学生以下	観覧料
1	夏期子ども講座作品展 「どうぶつたちの スポーツ大会展」		夏期子ども講座の受講生と指導をおこなった東京学芸大学の学生による作品展。講座で制作した版画のほか、下絵用紙や制作についての感想文も展示。講座の様子をまとめた動画や制作手順の解説パネルを設置した。来場者から「展示中のTシャツが欲しい」という感想を頂くなど、好評であった。	8/6(火)～10(土) 〈5日間〉	市民展示室	大学生12人(13点) 受講生29人(58点)	198人	50人(推計)	
2	第38回 町田市公立 小中学校作品展	どなたでも	町田市内の公立小中学校にかよう児童・生徒による作品展。子どもたちが授業等で制作した美術、図画工作、書写の意欲溢れる作品を展示し、日頃の学習の成果を発表する。 〈参加校〉町田市立小学校および中学校 〈出品作品〉上記学校の授業等で児童・生徒が作った水彩画、版画、デザイン、ポスターなどの平面作品ならびに中学生による工芸、彫刻などの立体作品。および小学生の書写作品。 〈主催〉町田市、町田市教育委員会、町田市公立小学校教育研究会図工部・国語部、町田市中学校教育研究会美術部	中学校美術作品展 2025年 1/10(金)～19(日) 〈9日間〉	企画展示室1	2615点 20校	3234人	1335人	無料
				小学校図画工作展 2025年 1/24(金)～2/2(日) 〈9日間〉		1510点 42校	4683人	3072人	
				小学校書写展 2025年 2/7(金)～16(日) 〈9日間〉		3468点 42校	1995人	1491人	
					計	7593点	9912人	5898人	合計15,810人

5 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となることを目指す。

	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	参加人数	うち中学生以下	参加費
1	幻想採取 ～コラージュで作るイメージ の標本匣～	中学生・大学生・ 専門学校生	「幻想のフラヌール 版画家たちの夢・現・幻」展開連イベント 企画展出品作家の池田俊彦氏を講師に迎え、「自分でも気付かない、頭の中の幻想をかたちにしよう」と、科学雑誌などの切り抜きをコラージュし、A4大2mm厚の亚克力板2枚で挟んだ作品を制作。中学1年生から大学・専門学校生までの幅広い年代の若者が参加した。講師の積極的な会話に刺激を受け、それぞれの世界観をもった作品が完成した。講座の最後に作品を鑑賞し、制作意図を発表する時間を持った。	8/24(土) 13:30～16:00	アトリエ	12人	9人	2人	500円

	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	参加人数	うち中学生以下	参加費
2	プロムナード・コンサートI 「ピアノの音色で蘇る記憶」	どなたでも	「版画の青春 小野忠重と版画運動」展関連催事 塩谷遙(ピアノ) ラフマニノフ:「音の絵」より 作品39-8ニ短調、 スクリヤーピン:「2つの詩曲」より 作品32-1嬰へ長調 ほか	4/27(土) ①13:00 ②15:00 各30分	エントランスホール	①87人 ②87人	①83名 ②70名	①2人 ②5人	無料
3	プロムナード・コンサートII 「音で誘う幻想的な廻廊へ」		「幻想のフラヌール—版画家たちの夢・現・幻」展関連催事 岩谷明石(ヴァイオリン)、永易理恵(ピアノ) ドビュッシー:「ベルガマスク組曲」より「月の光」、 ヴァージャ・アザラシヴィリ:「ノクターン」ほか	7/14(日) ①13:00 ②15:00 各30分		①100人 ②100人	①73名 ②74名	①4人 ②3人	
4	プロムナード・コンサートIII 「煌めきの奏者たち」		「两大戦間のモダニズム:1918-1939 煌めきと戸惑いの時代」 展関連催事 町田市内の大学で音楽を学ぶ学生による声楽、器楽。 ①桜美林大学芸術化学群音楽専修 ビゼー:オペラ「カルメン」より「闘牛士の歌」、 ムソルグスキー(松岡邦忠編曲):「展覧会の絵」より プロムナード〜古城・牛車〜キエフの大門 ほか ②玉川大学芸術学部音楽学科 シューマン:ピアノソナタへ短調 作品14 第1楽章、 フェルディナンド・ダヴィッド:バス・トロンボーンのための 協奏曲変ロ長調 op.4、 グラスノフ:サクソフォン協奏曲	9/21(土) ①13:00 ②15:00 各30分		①100人 ②100人	①77人 ②63人	①3人 ②4人	

6 版画工房・アトリエの一般開放

	事業名	対象	概要	実施日数	会場	利用者数	使用料
1	版画工房・アトリエ の一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。 各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。 毎週木曜、日曜、月2回の火曜に実施。 9時30分～17時30分 (9時30分～13時30分と13時30分～17時30分) 定員:銅版画 10人 リトグラフ 6人 スクリーンプリント 8人 木版画 2人	年間118日実施 当初124日の予定だったが 12月の工事による 一時休館により6日減	〈版画工房〉 銅版画 リトグラフ 〈アトリエ〉 スクリーンプリント 木版画	木版画 3人 スクリーンプリント 8人 リトグラフ 8人 銅版画 1人 (内訳) 4月～2025年3月 (118日) 3月 6人 4月 4人 5月 8人 6月 3人 7月 2人 8月 2人 9月 3人 10月 4人 11月 3人 12月 2人	半日…1,250円 一日…2,500円

7 その他事業

	事業名	対象	概要	実施日程	会場	来場者数	参加費
1	第26回 ゆうゆう版画美術館 まつり	どなたでも	国際版画美術館を拠点に町田市内外に“美術を愛する人々の交流の輪”を拡げることを目的とする。木版画摺り体験、コンサート、市域学生によるアートイベントなど、さまざまなイベントが実施された。友の会との共催事業。同時期に文学館まつりも開催された(10月27日)。	10/26(土) 10/27(日)	国際版画美術館 館内と前庭	5,645人	無料

1 版画講座



銅版画一日教室



リトグラファー一日教室



木版画一日教室



創作講座 スクリーンプリント



夏期子ども講座「どうぶつたちのスポーツ大会」



子ども講座①「1枚だけの版画、水彩モノタイプ」



子ども講座②「一みでみてつくり」「思いをこめて☆版画でふやす《大切なもの》」



2 学校教育への協力



町田市立山崎中学校美術部



町田市中学校教育研究会美術部



町田市立山崎中学校2年生
出張授業「浮世絵を通して木版画を知ろう」



東京学芸大学教育学部美術講座



学校法人角川ドワンゴ学園N中等部町田キャンパス1～3年生



3 他機関への協力

独立行政法人国際交流基金 「変奏と自立—現代日本の画家たちの版画」展関連ワークショップ



4 作品展

夏期子ども講座作品展



第38回町田市公立小中学校作品展



中学校美術作品展



小学校図画工作展



小学校書写展

5 イベント、コンサート

幻想採取～コラージュで作るイメージの標本匣～



プロムナード・コンサート



「ピアノの音色で蘇る記憶」



「音で誘う幻想的な廻廊へ」



「煌めきの奏者たち」

6 版画工房・アトリエの一般開放



7 その他事業

第26回ゆうゆう版画美術館まつり



町田市立国際版画美術館 紀要 第29号

2026年3月28日 発行

編集・発行 町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

TEL : 042-726-2771 / 0860

刊行物番号 25-46

製作 ニューカラー写真印刷株式会社

Machida City Museum of Graphic Arts

4-28-1 Haramachida

Machida City, Tokyo, Japan #194-0013

Edited and Published by Machida City Museum of Graphic Arts

Printed by New Color Photographic Printing Co., Ltd.